

第九十回
帝國議會
貴族院

林業會法案特別委員會會議事速記録第三號

付託議案
○林業會法案

昭和二十一年十月二日(火曜)
日)午前十時六分開會

○委員長(子爵北條篤八君) 昨日ニ引續キマシテ開會致シマス、質問ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(中尾勇君) 昨日ノ西大路子爵ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、施業案ノ計畫ニ對シテ、實行が伴ツテ居ナイ箇所ガ多イト云フ御意見デゴザイマシタガ、戰時中ニ於キマシテハ勞務ヤ資材ノ關係又其ノ他色々隘路ガゴザイマシテ、計畫通り實行出來テ居ナイ箇所ガ多イ實情ニアリマシ、特ニ大ニ大ナル事業ヲ致シマス爲ニ伐採箇所ノ如キハ早伐、過伐ノ狀態ニアリマシテ、施業案全體ト致シマシテ、施業ノ體系ガ攪亂サレテ居ルヤウナ箇所ガ相當ゴザイマスノデ、政府ト致シマシテハ是等ノ箇所ニ對シマシテハ出來ルダケ早ク臨時檢定ヲ施行致シマシテ、サウシテ逐次補正ヲシテ行ク方針ヲ以チマシテ、只今實行ヲ致シテ居ルノデアリマス

○子爵西大路吉光君 御答辯ノ御趣旨ハ能ク分リマシタガ、尙今日迄隨分多額ノ費用ヲ投ジテ、森林組合ナリ市町村有林ナリ隨分事業

モ澤山ヤツテ居リマスガ、其成績ガ餘リ見ルベキモノガナク甚ダ遺憾トスルモノデアリマス、是等ニ付テハ先ヅ植エルダケハ植エテハアリマスガ、後ノ補植、手入、撫育等ニ付テハ十分行届イテ居リマセヌ、ソレガ爲ニ非常ニ成長ガ遅レテ居リマス、補植等モ植エタラ植エタケデ、後ハ其ノナリニシテ居ルト云フ所ガ往々アリマスノデ誠ニ惜シイコトト思フノデアリマス、斯ウ云フ事柄ハ詰リ指導監督ガ行届イテ居ラナイノデハアルマイカ、尙又經費ノ點ガ非常ニ不足勝ナノデ、サウ云フヤウニナツテ居ルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、殊ニ又戰爭以前カラ今日ニナツテハ、尙更ノコト此ノ經費ガ非常ニ掛リマスノデ、ソレ等ノ爲ニ仕事ガ賄ヒ切れヌヤリ切レヌト云フヤウナコトモ想像サレ

マス、私モ實際方々歩いて見マシテ、今迄能ク見テ參ツテ居リマス、ソコデ何トカ此ノ法律ヲ出シマスルト同時ニ、是等ノコトモ一層意ヲ用ヒナケレバナラヌコトニ私ハ存ジマスノデスガ、ソレ等ニ付テハドウ云フヤウニ御考ヘデアリマセウカ、御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(中尾勇君) 御意見誠ニ御尤モト存ズル次第デアリマスルガ、昨日モチヨット申上ゲマシタ通りニ、此ノ森林組合ノ方ノ技術員ノ増員、又技術員ノ技術ノ向上ノ指導等ニ力ヲ注ギマシテ、ソレ等ノ成績箇所ノ改善ニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙經費ノ點ハ、只今ノ所新植ノ補助以外ニハ補助スル途ガナイノデアリマ

スルガ、更ニ此ノ撫育ノ箇所ノ助成ニ付キマシテモ考究ヲ致シテ見タイト考ヘテ居リマス、尙今ノ造林證券ニ依リマス箇所ノ撫育ニ付キマシテハ、助成ノ途モアリマスガ、古イ造林地ノ撫育ノ助成ハ只今ノ所出來ナイ實情ニアリマスルノデ、技術員ノ方ヲ能ク指導致シマシテ、個々ノ森林所有者ノ指導ヲ徹底致シタイト考ヘテ居リマス

二本建デハ材木ノ増産ハ出來得ズト思ヒマスガ、御當局ノ御見解ハ如何デスカ、チヨット御尋ネ致シマス

○政府委員(平川守君) 木材ノ増産ヲヤツテ參リマスル爲ニ、從來兎角森林組合ノ側ト林産業者トノ側ガ相對立ヲ致シマシテ、之ガ増産ノ支障ニナツテ居ルヤウナ事態ガ往々ニシテアリマシタ、此ノ兩者ヲ何等カノ形ニ於テ纏メマシテガ、増産上非常ニ必要デアラウト云フコトガ林業會ノ設立ノ一ツノ要點デアアル譯デアリマス、ソレダカラト申シマシテ、此ノ林産業者側ト森林所有者側ト全然一ツノ團體ニ初カラ渾然ト入レテミヤウト云フコトモ是亦如何カト存ズルノデアリマシテ、森林所有者ト致シマシテハ、森林ノ造成ト云フ大キナ目的ヲ持ツテ居リマスルシ、又林産業者側ハ木材ノ生産、配給ト云フ面ニ於テ相當實力ヲ持ツテ從來之ニ從事シテ居ルノデアリマスルカラ、一應兩者ノ團體ノ存立ヲ認メマシテ、併シナガラ此ノ兩者ガ相對立シテ居ルト云フ狀態デナシニ、何等カノ形ニ於テ纏ツテ増産ノ強調ヲ圖ル一ツノ機會ヲ與ヘル爲ニ、茲ニ林業會ノ設立ヲ致スト云フコトニ考ヘテ居ル譯デアリ

マス

○杉山茂君 ソレデハ將來ニ於キマシテ若シ良イ折ガアリマシタラバ、一本ニサレルト云フ御積リハアルノデアリマスカ

○政府委員(平川守君) 此ノ兩方ノ組合ヲ全ク解消シテ一本ニスルト云フコトハ、恐クハナカ／＼望ミ難イノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、森林組合ガ非常ニ發達ヲ致シマシテ、森林所有者ガ林産物ノ生産迄、或ハ配給迄自分ノ手デヤリ得ルト云フヤウナ狀態ガ來レバ又別デゴザイマスガ、併シ現在ノ見透シト致シマシテハ、恐ラクハナカ／＼サウ云フ狀態ニハナリ難イノガ實際ノ狀況デハナカラウカ、假ニ現在ノヤウニ森林所有者ト云フモノト林産業者ト云フモノガ兩者ガ存立ヲシテ居リマスル間ハ、此ノ兩者ノ組合ヲ解消ヲシテ一本ニ纏メルト云フコトハ却テ事態ニ即應セナイノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

○杉山茂君 モウ一ツ御當局ニ御伺ヒ致シマスガ、森林組合員ノ森林ハ、林産組合ニ販賣出來ルノデセウカ、如何デセウカ

○政府委員(平川守君) 是ハ林産組合ニ販賣スルコトモ出來マス、或ハ林産組合員タル個人ノ業者ニ販賣スルコトモ出來マス、ソ

コハ自由デアリマス

○杉山茂君 分リマシタ

○竹下豐次君 造林ノ問題デアリ

マスガ、今デモマダ地方ニ依リマシテ残ツテ居リマス部分林ト云フノガアリマス、官有地ニ民ガ植付ケテ居ル、七、三トカ四分六トカ

何トカ云フノガ、是ハ官有地ニ民ガ造林スル、逆ニ民有地ニ官ガ造林スルト云フコトヲヤツテ居ル所

モオアリト云フコトモ聞イテ居リマスガ、今ノヤウニ、民間デ以テ造林ガ困難ナ状態ニナリマスルト

云フト、サウ云フ今迄ノ所謂部分林ノ逆ノ部分林、ソレノ大仕掛ケ

ノ造林ハ、成ルベク官自身デヤルト云フヤウナ風ニシテ、其ノ利益

ノ一部ヲ民ノ方ニ又殘シテヤルト云フ方策ヲ御執リニナルノモ一ツ

ノ行キ方デヤナイカト思ヒマス、サウ云フコトニ付テノ方針ハド

ウ云フコトニナツテ居ルノデセウカ

○政府委員(中尾勇君) 只今官有

林野ニ付キマシテハ、官行造林ヲ致シマシテ分收スル、官デ植栽

スルコトハ致シテ居リマス、個人有林ニ付キマシテハ、現在ハヤ

ツテ居リマセヌガ、昨日テヨツト申上ゲマシタヤウニ、民有地、個

人有ニ付キマシテモ官行造林ミタヤウニ、官ノ方デ植栽致シマシ

テ、後デ分收スルコトモ只今研究致シテ居リマス、マダハツキリ

決リマセヌ、色々研究ヲ致シテ居

リマス

○子爵青木重夫君 大臣ニ御出席

ヲ御願シテ御質問申上ゲタイノデ

スガ、御都合ハ如何デスカ

○委員長(子爵北條高八君) 午前

中ニハ必ズ見エル筈デスカラ、其

ノ時ニ

○伯爵前田利男君 此處ニ「御料

及國有林野農地開放見込面積」ト

云フノガアリマスガ、此ノ中ニハ

今度出來マス農地法實施ニ依ツ

テ開放スルモノハ入ツテ居ナイダ

ラウト思ヒマスガ、今度農地法ガ

實施サレマシテ開放サレル面積ハ

ドノ位ゴザイマセウカ、御見込

ハ

○政府委員(平川守君) 開墾ノ豫

定地ハ全體デ以テ計畫ハ約百五十

萬町歩ト聞イテ居リマスガ、其ノ

中山林ノ方カラドノ位ト云フコト

ハハツキリマダ聞イテ居リマセヌ

○委員長(子爵北條高八君) 他ニ

御質疑ハゴザイマセヌカ

○竹下豐次君 此ノ衆議院ノ修正

案第九十八條「森林法の一部を次

のやうに改正する」第六十二條に

左の二項を加へる、「組合ハ前項

ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フコトヲ

得」ソレヨリズツト書並ベテアリ

マスルガ、是ハ今日迄ノ處森林組

合ガ斯ウ云フ仕事ヲシテ居ル所モ

アル、其ノ場合ニハ知事ガ認可ス

ルト云フコトニ取扱ガナツテ居ツ

タヤウニ承ツテ居リマスガ、ソレ

ハ森林法ノ六十二條ノ第二項ノ第

二號其ノ最後ニ「必要ナル共同施

設ヲ爲スコト」ト云フ此ノ文句ガ

活カシテ使ハレテ、サウシテ斯ウ

云フ風ノ仕事ヲ森林組合デ爲スコ

トヲ許サル、場合ガアルト云フコ

トノヤウニ私ハ理解シテ居ツタノ

デアリマス、其ノ理解ガ間違ツテ

居レバ別デアリマスケレドモ、サ

ウダト致シマス、此處ニ「前項

ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フコトヲ

得」トシテ三ツ並ベルト云フコト

ハ、此ノ外ニマダ共同施設ヲ爲ス

コトガ出來ルト云フ此ノ文句ヲ活

カス場合ガアルノカ、或ハ此ノ共

同施設云々ト云フノヲ、此ノ三ツ

ニ限定サレルヤウナ風ニ考ヘラレ

ル氣遣ヒガアリハシナイカ、私ノ

質問ガ少シ混雜シマシタガ、オ分

リニナリマシタカ

○政府委員(平川守君) 此ノ六十

二條ニ新タニ加ヘマス事業ハ御話

ノ如ク、從來ノ條文ニ依リマシテ

モ出來得ルモノデアルト云フ風ニ

私共ハ解釋ヲ致シテ居ツタ譯デア

リマス、サウ云フ意味カラ致シマ

シテ此ノ條項ヲ特ニ加ヘル必要ハ

ナイノダト云フコトヲ原案トシテ

ハ主張シテ居リマシタ譯デアリマ

ス、唯衆議院ノ方デ問題ニナリマ

シタノハ、實際問題トシテ地方等

ニ於テ林産組合ノ方ニハ是ノ事

業ガ出來ル、森林組合ノ方ニハ其

ノ條項ガナイト云フコトニナリマ

スト、森林組合ハ是ガ出來ナイノ

ダ、林産組合ノ方ニハ出來ルヤウ

ニ規定ガアルノニ、森林組合ダケ

ニナイカラシテ森林組合ノ方ハ出

來ナイ、斯ウ云フコトヲ一般ガ信

ジマシテ、其ノ爲ニ森林組合ノ活

動上非常ニ遺憾ノ點ガ生ジル處ガ

アラウト云フコトカラシテ、解釋

上出來ルカモ知ラヌケレドモ、此

ノ仕事ハ特ニ自治統制ノ上カラ重

要ナ問題デアルカラ、法律ニ明記

シテ貫ヒタイト云フ意味デ之ヲ附

加ヘラレタノデアリマス、謂ハバ

注意的ノ規定ト言ヒマス、サウ

云フ考デアリマス、從ツテ此ノ共

同施設ト云フ言葉ハ此ノ新ナル

條項ヨリハ範圍ガ勿論廣イノデア

リマス、各種ノ施業上必要ナル共

同施設ト云フノハマダ色々考ヘラ

レルノデアリマス、或ハ勞務者ニ

對スル福利施設其ノ他色々ナコト

ガ考ヘラレル、其ノ中デ所謂自治

統制ニ關係ノアリマスル部分ガ新

タニ第二項トシテ加ハル、主トシ

テ是ハ割當デアリマス、或ハ

價格ニ對スル協力デアリマス、ト

云フヤウナ自治統制ニ關係

ノアル項目ガ此處ニ規定サレル譯

デアリマス、ソレ以外ノ一般ノ共

同施設ノ分ハ從來ノ規定ニ依ツテ

行フコトニナル譯デアリマス

○竹下豐次君 サウダラウト云フ

風ニ私モ想像シテ居ツタノデアリ

マスガ、御話ハ分リマシタケレド

モ、「左ノ事業ヲモ」ト書イテアレ

バ御説明ノ通りニナルト思ヒマ

ス、此ノ書キ方デハ「前項ノ事業

ノ外」ト書イテアリマス、前項ノ

事業ト云フノハ施業ヲ作ツタ

リ、色々ナ造成ノ方ノ關係ニナル

譯デス、其ノ他ニ左ノ事業ヲ行フ

コトヲ得」ト云フヤウナ書キ方ニ

スルト、是ハ制限的ノ規定ニナツ

テ、共同施設ト云フコトハ外ノ條

文ガアルカラ、其ノ中ニマダ廣イ

コトヲ含ムノダト云フ御解釋ガ出

來ルカモ知レナイト思ヒマスガ、

少クモ疑問ノ起ル書キ方デヤナ

イカト斯ウ思ヒマス、「事業ヲモ」

ト云フコトニナツテ居レバ、ソレ

ハ仰シヤル通りニ間違ヒナク解釋

ガ出來ルト思ヒマス、第一項ノ外

之ヲ行フコトガ出來ル」ト云フコ

トニナルト、此ノ外ノモノハ出來

ナイノダト云フ風ニ解釋サレルノ

ダラウト思ヒマス、ソレカラ元々

共同施設ト云フ中ニ、從來ヤラレ

テ居ラレタヤウナ斯ウ云フ仕事ヲ

含メテ宜イカドウカト云フコトガ

私ハ根本的ニ疑問ダト思ツテ居リ

マス、ソレハ併シ今日迄ノ運営デ

ヤツテ居ラレマス、條文ノ體裁ト

シテハ私ハ立法技術トシテハマツ

イ、サウシテ其ノ疑問ハ當然起ル

疑問ダト云フ風ニ考ヘマスガ、其

ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(平川守君) サウ云フ

疑問ガ或ハ起ルカモ知レマセヌ

ガ、是ハ林産組合等ノ方ニモ實ハ

斯ウ云フ形デ書イテ居ルノデアリ

マス、第六十七條ノ書キ方ガ矢張

リ是同ジヤウナ書キ方ニ致シテ

居ルノデアリマス、左の事業を行ふことができる」ト云フノデ「事業ヲモ」ト云フノ同ジ意味ノ解釋ガ出來ルノデヤナカラウカト思ツテ居リマス

○竹下豐次君 解釋上ノ問題デアリマスカラ是以上ニ何トモ申上ゲマセヌ

○白澤保美君 私ハ政府委員ノ方ニ御質疑ト申シマスカ何ト云フカ、チヨツト御注意申上ゲマスガ、此ノ第九十一條等ハ衆議院ニ於テ創設ト云フコトデアツテ、隨分長イ間論議ヲ續ケ、其ノ爲ニ今迄ノ審査ガ遅レタ經過ガアルヤウデアリマスガ、昨日之ニ對シテ確カ松尾委員カラノ御質疑ニ對スル御答ガアリマシタノデスガ、何ダカ私聽イテ居ツテマダ徹底シナイ點モアルヤウデスカラ、此ノ經過ニ付テ改メテ此處デ御話ニナツタラ如何ダラウト思ヒマスガ、此ノ法案ノ中デ、是ガ一番衆議院ヲ通過スル時ノ難門デアツタヤウニ私ハ聞イテ居リマスカラ如何デゴザイマスカ

○政府委員(平川守君) 此ノ第九十一條ヲ規定致シマシタ政府ノ心持ト致シマシテハ、現在ノ社團法人日本林業會ト云フモノハ、終戰直前ニ木材増産其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、森林組合ト木材業者ノ團體ト云フモノガ相協調スルコトガ必要デアルト云フ意味カラ致シマシテ、取敢ズ民法上ノ社團法

人ト致シマシテ日本林業會ヲ設立致シマシタ、全國森林組合聯合會及ビ日本木材協會ト云フモノヲ解散致シマシテ設立シタ譯デアリマス、政府ニ於キマシテモ其ノ趣旨ニハ固ヨリ賛成デアリマスノデ、之ニ對シテ相當ノ助成金モ致シ、又設立ノ當初ニ於キマシテハ役員ニ付テモ政府ガ任命スルト云フヤウナコトヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、終戰ト共ニ定款ヲ變更致シマシテ、民主的ナ建前カラ致シルト云フ風ニ改正ヲ致シマシタ、併シナガラ兎モ角森林組合及ビ林産業者ノ團體ニ對シマシテ此ノ調整ヲ圖ルベク指導ノ任ニ當リ、サウシテ林業ノ發達或ハ木材其ノ他林産物ノ増産ト云フヤウナ仕事ヲ擔當シテ居リマシタ唯一ノ民間團體デアアル譯デアリマシテ、左様ナ經緯カラ致シマシテ、今回ノ日本林業會ト云フモノト社團法人日本林業會トハ法律上性格ヲ異ニ致スコトハ當然デアリマスルケレドモ、併シナガラ實際上其ノ目的トスル所ニ於テ可ナリ共通ノ部面ガアル譯デアリマス、從來カラ政府ノ指導シテ參リマシタ社團法人日本林業會ヲ今回ノ日本林業會ニ於キマシテ承繼ヲ致スト云フコトハ、極メテ自然デアラウト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、殊ニ此ノ日本林業會ガ成立ヲ致シマシタ後、直チニ事業ヲ發足スルニ致シ

マシテモ全然新ラシク設立ヲ致スト云フコトニナリマスト相當ナ準備期間ヲ要スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、事業ヲ引續イテ圓滑ニ運行シテ參リマス爲ニハ、此ノ承繼ト云フコトガ一番便利デアハナカラウカ、又現在ノ日本林業會ト云フモノハ或程度ノ資産ヲ有シ、或ハ人的要素ヲ有シマシテ仕事ヲ運行シテ居ル譯デアリマス、其ノ儘引繼グト云フコトガ色々ナ意味ニ於テ最モ自然ダラウト考ヘタノデアリマス、而シテ其ノ場合ニ於キマシテハ此ノ承繼ヲ以テ特ニ課税ノ對象トスルヤウナコトハナイヤウニ、免税ノ特點等モ與ヘルト云フコトガ適當デアラウト云フノデ左様ナ規定ヲ設ケタ譯デアリマス、衆議院ニ於キマシテハ其ノ趣旨ニ對シテ別ニ反對ハナイノデアリマスケレドモ、現在ノ日本林業會ノ資産ノ内容ヲ見ルトドウモ赤字ニナルノデハナカラウカ、假ニ資産ガ赤字ニナルト云フヤウナコトニナリマスレバ、新日本林業會ガ成立ノ初カラ赤字ヲ背負ツテ立ツト云フコトニナツテ、是ハ甚ダ不都合デアルト云フヤウナ御意見ガアツタノデアリマス、尙其ノ他現在ノ社團法人日本林業會トハ本質的ニ性質ヲ異ニスルト云フヤウナ御意見モゴザイマシタガ、其ノ點ハ御了解ヲ得タノデアリマス、赤字ノ問題ガ最後迄論議セラレタノデアリマス、政府ノ見

解ト致シマシテハ現在ノ社團法人日本林業會ト云フモノハ赤字ハ持ツテ居ラナイ、其ノ赤字ガアルト云フ御主張ノ中ニハ、貸借對照表カラ見マシテ千數百萬圓ノ銀行カラノ借入金ガアル、此ノ借入金ガ返セナイノデハナイカト云フ御話ガゴザイマシタ、併シナガラ是ハ現在ノ社團法人日本林業會ガ全國森林組合聯合會ヲ解散シテ其ノ事業ヲ引繼ギマシタ關係上、杉皮其ノ他ノ特殊林産物ニ付キマシテ集荷配給ヲ行ツテ居リマス爲ニ、其ノ所謂事業資金ト致シマシテ一時銀行カラ借入ヲ致シマシテ之ヲ地方ノ森林組合ニ前渡ヲ致シ、之ニ依ツテ杉皮ヲ集メテ住宅營團或ハ進駐軍ノ建築ト云フヤウナ方面ニ納メテ居ルノデアリマス、斯様ナ事業ヲ致シテ居リマス爲ニ、是ハ必然ニ或程度ノ事業資金ヲ銀行カラ借入レル、是ハ併シ三箇月位デ概ネ回收ガ出來マシテ、又銀行ニ返済スルト云フヤウナ大體徑路ニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ銀行ノ借入金ト云フモノハ別ニ赤字ト云フヤウナ性質ノモノデナイト云フ釋明ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ尙貸借對照表ノ中ニ百數十萬圓ノ缺損ト云フモノガ載ツテ居ルデヤナイカト云フ御話モゴザイマシタガ、是モ實ハ所謂事務費、人件費デアリマシテ、是ハ當初カラ餘リ收益ノアル團體デアリマセヌデシタカラ、政府ノ方

デ助成ヲスルト云フ建前ノ下ニ其ノ助成金ヲ引當ニ行ツテ居リマシタ出資デアリマシテ、是ガ偶々七月未ノ貸借對照表ヲ作りマス、其ノ時政府ノ補助金トシテ入ツテ參リマセヌ關係上、缺損ト云フ形デ現レテ參ツタ事柄デアリマス、尙所謂今度ノ軍需補償ノ打切ニ伴ヒマシテ、林業會ガ課税ヲ受ケルト云フ問題ガアルノデハナイカ、是ガ只今ノ見積リニ依リマストマダハツキリ致シマセヌケレドモ、五百萬圓程度アルダラウト云フノデアリマスケレドモ、之ニ付キマシテハ色々一萬圓ト云フヤウナ免税モアリマスシ、又現在ノ林業會ガ持つテ居リマス資産ガ大體出資金等併セマシテ四百萬圓程度ハアルダラウト云フ想定デアリマスシ、大體ニ於テ軍需補償ガ假ニ全部掛ツテ參ツタト致シマシテモ、此ノ赤字ハ財産ヲ以テ賄ヒ得ル、最悪ノ場合ニハ政府ノ補助金ノ一部ヲ以テ補ダスルト云フコトモ或程度ハ考ヘテ宜シイト思フカラシテ、新林業會ガ之ニ依ツテ赤字ヲ背負ツテ立ツト云フコトハ政府トシテモ致サセナイ積リデアアルシ、又サウ云フコトニハナラナイト信ジテ居ルト云フ御説明ヲ申シタノデアリマスガ、併シ萬一赤字ヲ前以テ引繼グト云フコトニナツテハイケナイカラシテ、サウナラナイコトヲ法律上ハツキリサシテ置クコトガ必要デアルト云フ御趣

旨デアリマシテ、ソレモ御尤モト存ジマシタノデ、「債務についてはその承繼に因つて得た財産の限度において、その辨済の責に任ずる」ト云フ一項ヲ加ヘルコトニ同意致シタ譯デアリマス、併シナガラ私共ノ見透シト致シマシテハ、恐ラクハ此ノ條項ガ實際ニ例イテ債權者ニ迷惑ヲカケルト云フヤウナコトハナイデアアラウト云フ風ニ信ジテ居ルノデアリマス、併シナガラサウ云フ事情デアリマスノデ之ヲ法律上ハツキリトシテ置クト云フコトデアリマスカラ、之ニ付テハ別段異議モアリマセヌノデ同意致シタヤウナ次第デアリマス

○白澤保美君 分リマシタ

○竹下豐次君 諒ク御尋デスガ、先ツキノ問題デマダ疑問ガ残ツテ居リマスノデ、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、先ツキ私ハ「左ノ事業ヲモ」ト云フヤウニ「モ」ノ字ヲ入レ、バ宜イト申シマシタガ、「モ」ヲ入レテモ矢張りイケナイヤウデアリマスカラ、先ツキ申シマシタコトハ、私ノ意見ガ間違ツテ居ツタヤウニ思ヒマス、其ノ點御了承ヲ願ヒマス、ソレカラモウ一ツノ疑問ハ、六十二條ノ三項ニ「組合ハ前項ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フコトヲ得」斯ウ云フコトニナル譯デスネ、森林法ノ第三項ニナル譯ナノデスネ、サウシマスルト、此ノ中ニアリマスル三ツノ事

項ト云フモノハ、共同施設ト云フ現行法ノ第二項ニ書イデアリマサル言葉ノ中ニハ含マナイ、共同施設ト云フ中ニ入ラナイノダト云フ解釋ニナラザルヲ得ナイノデヤナイカト思ヒマス、處方從來ハ斯ウ云フ施設モ、矢張り共同事項ト云フモノノ中ニ入ルトシテ知事ガ認可シテ森林組合デ行フコトヲ許シテ居ラレタノデアリマス、サウシマスト云フト、私ノ疑問ハ、共同施設ト云フ此ノ言葉ノ解釋ヲ從來ト御改メニナルコトニナルノデアリマセウカ

○政府委員(平川守君) 此ノ文章

ニア「事業ノ外」トアリマスカラ、非常ニ文理的ニ申セバ前ノ方ノ共同施設ト云フコトニハ入ラナイ、斯ウ申サザルヲ得ナイカト存ジマス

○竹下豐次君 サウスルト、結局

共同施設ト云フ言葉ニ對スル此ノ法ノ解釋ヲ從來ト違ツタヤウニ是カラ御改メニナル、之ヲ除イタモノデ共同施設ニ入ルモノモアル、斯ウ云フ風ニ了解スベキナノデスカ

○政府委員(平川守君) サウ云フ

風ニ考ヘザルヲ得オイト思ヒマス、實ハ此ノ新ラシイ一項ノ方ハ注意的ナ規定デアツテ、此ノ林産組合等ニ於キマシテモ必ズシモ之ヲ書カナケレバ出來ナイトモ考ヘテ居ラナカッタノデアリマスケレドモ、併シ此ノ法文ノ形ガ「事業

ノ外」ト云フ風ニハツキリ書イテ參リマシタカラ、之ヲ除ク一般ノ共同施設ト云フコトニ前ノ方ノ共同施設ト云フ文字ガ制限ヲ受ケル、從ツテ此ノ森林組合ノ方ハ從來ハ稍々廣ク之ヲ解釋シテ居ツタノデスケレドモ、此ノ部分タケハハツキリ茲ニ明文ガ出マシタカラ、此ノ新タニ加ハル二項ノ方ダケハ前ノ共同施設カラ除カレタ、次ノ新ラシイ明文ノ方デ明記サレタ、從ツテ前ノ共同施設ハ少シ從來ノ解釋ヨリハ狭クナツタ、斯ウ云フ御説ノヤウニ解セザルヲ得ナイカト思ヒマス、此ノ事業ニ付キマシテハ、昨日チヨツト御説明申上ゲタ指令ノ中ニ實ハ斯ウ云フコトヲハツキリ言ツテ居リマスモンデスカラ、特ニ此ノ條項ヲ此處ヘハツキリ擧ゲタ譯デアリマス、必ズシモナクテモ出來ナイコトハナイト思ヒマススケレドモ……

○竹下豐次君 サウシマスルト、

是ダケノモノハモウ知事ノ認可モ要ラナイデ、當然出來ル、斯ウ云フコトニナル譯ナノデゴザイマセウカ

○政府委員(平川守君) サウデア

リマス

○竹下豐次君 サウスルト、此ノ

共同施設ト云フ言葉ニ該當スル事業トシテハ、一番頭ニ浮ビマスノハ、苗圃ヲ作ルトカ云フヤウナコトダラウト思ツテ居リマスガ、其ノ外ニ共同施設ト云フデドウ云フ

種類ノコトガアルノデゴザイマスカ

○政府委員(平川守君) 是ハマア

施業ニ必要ナコトデアレバ何デモ廣ク出來ルヤウニ規定致シテ居ル譯デアリマシテ、勞働者ニ對スル福利施設モ宜シウゴザイマセウシ、可ナリ範圍ヲ廣ク考ヘテ居ル譯デアリマス

○松尾國松君 私一ツ御尋シタイ

ノデスガ、大體衆議院デ九十一條ノ第二項ヲ挿入シタト云フコトハ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ルデスナ、結局、私ハ先ツ第一ニ承リタイコトハ、此ノ前ノ社團法人ガ何故ニ是程ノコトヲセラレテ引繼イデ貫ヒタイト言ハネバナラヌカ、斯ウ云フコトヲ一ツ承リタイ、其ノ次ニハ、私ノ聞ク所ニ依ルト、ドウシテ是ダケノモノガ衆議院デ入ル以上ハ、サウ簡單ニ入ツタ譯デヤナイト聞イテ居リマス、ソレカラ結局ノ所私ノ聞ク所ニ依ルト、風聞デアルカラ、違フカ違ハヌカ知ラヌガ、結局現在ノ資産ニ依ツテ調査スレバ、約二千萬圓ノ損失ハ免レヌデアラウ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ルガ、其ノ二ツニ付テ先ツ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(平川守君) 現在ノ日

本林業會ヲ引繼クト云フコトハ、現在ノ日本林業會ノ立場カラ之ヲ救済スル爲トカ云フヤウナコトデハ絶對ナイノデアリマス、現在ノ社團法人日本林業會ト云フモノガ

兎モ角モ政府ノ支持ニ依リマシテ、政府ノ支援ニ依リマシテ、森林組合及ビ現在ハ地木社デアリマサルケレドモ、木材業者ノ團體ト云フモノノ指導ノ任ニ當ツテ居ル譯デアリマス、林業關係ノ全國團體ト致シマシテハ、現在ノ所是ガ唯一ノ機關デアル譯デアリマス、今回日本林業會ガ此ノ法律ニ依ツテ成立致シマスルケレドモ、是ガ成立致シマスノハ、此ノ法律ニ依リマシテ下部ノ森林組合、林産組合ガ都道府縣ニ林業會ヲ設立致シマシテ、其ノ都道府縣林業會ガ又集ツテ日本林業會ヲ設立スルト云フ順序ニナリマスルノデ、恐ラク法律ガ施行ニナリマシテモ數箇月ヲ要スルデアラウト云フ風ニ考ヘラレル譯デアリマス、其ノ間假ニ現在ノ日本林業會ヲ繼承シナイデ、直チニ解散ヲ致スト云フコトニナリマスルナラバ、御承知ノ如ク色々團體ニ於テサウデアリマスルヤウニ、解散ガシ清算ヲシテ、ソレデ從業員等モ一切解雇ヲスル、斯ウ云フ風ナ状態ニナリマスルト、實際問題トシテ其ノ團體ハ急業状態ニ陥ル、非常ニ混亂ヲ起シマシテ、急業ニ陥ルト云フコトガ常デアリマス、從ツテ又各地方ノ指導ニ付テモ、其ノ中心機關ヲ實質上失ツテシマフト云フコトニナルコトガ恐ラク想像サレルノデアリマス、サウ云フ事態ヲ避ケマスル爲ニ、新ラシイ日本林業會

ガ出来タナラバ、舊林業會ヲ直チニ其ノ儘ノ形ニ於テ一應繼承スル、勿論新林業會ハ役員等ヲ新ラシク民主的ニ選出スル譯デアリマスカラ、其ノ内容ハ變ツテ參リマスルケレドモ、兎モ角其ノ資産ナリ或ハ職員ナリヲ一應引繼ギマシテ、即日ニモ仕事ニ支障ガナイヤウニ致シタイ、斯ウ云フコトガハツキリシテゴザイマセヌト云フト、現在ノ日本林業會ハ此ノ法案ガ假ニ修正ヲ受ケテ九十一條ガ削除サレタト云フコトガ新聞ニ傳ハルダケデモ、直チニ急業狀態ニ陥ルデアラウト云フコトヲ恐レタ譯デアリマス、舊日本林業會ヲ救済スルト云ツタヤウナ、其ノ立場ハ全然探ツテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ今一ツノ損失ノ點デアリマスガ、衆議院ニ於キマシテモ其ノ點ガ非常ニ問題ニナツタノデアリマス、決シテ簡單ニ修正ニナツタ譯デアリト云フ御話デアリ

マシタガ、其ノ通りデ、損失ノ問題ガ非常ニヤカマシクナツタ譯デアリマスケレドモ、先程申上ゲマシタヤウニ此ノ貸借對照表ヲ御覽ニナリマシテモ、御分リニナリマスヤウニ、千數百萬圓ノ借入金ガアリマスケレドモ、是ハ事業資金デアリマシテ、此ノ借入金ハ或ハ前渡金ノ形ニ於テ、或ハ現物ノ形ニ於テ、一面資産ヲ振替ニ持ツテ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ是ハ前年モ此ノ事業ヲ運用致シ

テ居ルノデアリマシテ、決シテ之ニ依ツテ赤字ヲ出シタト云フコトハナイノデアリマス、昨年度ノ如キモ相當程度此ノ仕事ヲヤツテ居リマスケレドモ、本年三月ノ決算ニ於キマシテハ、逆ニ四十萬圓位ノ赤字ヲ出シテ居ルノデアリマシテ、此ノ事業ガ運行ヲ續ケマスル限リニ於キマシテハ、相手方ハ前渡ラシテ居リマスルノハ森林組合デアリマス、又此ノ現物ヲ納メマスルノハ住宅營團、或ハ進駐軍ト云フヤウナ確カナ筋デアリマス、其ノ代金ガ取レナイトカ、或ハ前渡ガ倒レルトカ、サウ云フ危險ハナイト思ヒマス、デアリマスカラ一應ノ借入金トシテ舉ゲラレマシタ千數百萬圓ト云フモノヲ、之ヲ赤字ニナルダラウト言ツテ恐レルト云フコトハ、少シ行過ギデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○松尾國松君 一體此ノ損失ハ、今ノ御話デハ損害ハナイト云フコトニ承ツタノデアリマスガ、其ノ今度法案ニ出來マスモノト、先ノ林業會トハ目的ガ違フ、性格モ違フト云フ御話デアリマスガ、ソレ違ヒナイノデアリマス、處ガ先ノ林業會ハ森林組合及ビ木材業トノ對立ヲ緩和スルヤウナ意味ニ於テ出來タト、斯ウ云フヤウナ御話ニ聞イタノデスガ、サウスルト是ハ丁度ソレガ一ツノ法案ニ入ツタカラ、サウ云フモノハ必要ガナイ

ノデハナイカ、斯ウ云フコトニ考ヘラレル、サウシテソレニモ拘ラズ講釋ヲ入レテ入レテ入レ抜イテ、自分ノ費用ヲ以テ拵ヘタモノニ損ガ立チハシナイカ、勝手ナコトヲヤリハシナイカト云フヤウナ色ナナ批評ガアツタラシイノデスガ、ソレデモ尙此處ヘ入リタイト云フコトハ、普通ノ考ヘ方カラ考ヘテ見ルト、何カソレニ都合ノ宜イコトガアルデアラウト云フコトハ、想像スルコトハ必ズシモ邪推デモナケレバ何デモナイト思フノデアリマス、デアルカラサウ云フ風ニ考ヘテ來ルト、或ハモウ一ツ考ヘルト、補助ハ之ニサレルカサレヌカト、斯ウ云フコトト思ヒマシタガ、若シ補助ガアルト、山林會ト云フモノニ前ノ山林會ガ引繼ヲ受ケルノハ、サウ云フ意味デモ何デモナイト云フコトニナルナラバ、農林省ノ役人ガ、今日迄、昨日申シタヤウニ、監督指導ノ名ニ於テ干涉スルコトニナリハシナイカ、矢張り役人ガ今迄ノヤウニ補助スルヤウナ意味ニ於テ、監督指導ニ事ヲ寄セテ、此ノ林業會、或ハ統制其ノ他ノ今迄ノヤウナ不合理、矛盾ヲ敢テシヨウト云フヤウナ考ガアリハシナイカト思フ、是ハ感情的デモ何デモナク、理論的ニ考ヘラレルガ、其ノ點ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(平川守君) 現在ノ日本林業會ガ是ダケ反對ガアルノ

ニ、無理ニ之ニ承繼シテ貰ヒタルト云フヤウナ御意見ノヤウニ承リマシタガ、今迄申上ゲマシタヤウニ、現在ノ日本林業會ガ入りタガルト云フ問題デハナクシテ、政府トシテ考ヘテ見マシテ、現在ノ日本林業會ト云フモノガ、兎ニモ角ニモ全體ノ森林組合及ビ森林業者ノ團結ト云フモノヲ指導シテ居ル現在ニ於テハ、唯一ノ中央ノ機關デアルト云フコトヲ政府トシテハ考ヘテ居ル譯デアリマス、是ハ社團法人デアリマスケレドモ、兎モ角全國的ニ森林組合及ビ木材業者ガ集ツテ作ツテ居ル唯一ノ團體デアリマス、此ノ團體ガ斯ウ云フ種類ノ全國的ノ團體ト云フモノハ、必ズ常ニ一ツハナケレバナラヌ、ソコデ新ラシイ林業會ト云フモノハ、此ノ法律ニ依ツテ成立致シマスケレドモ、併シ新ラシイ林業會ガ成立シテ動キ出スト云フ迄ノ間ニ、現在ノ唯一ノ中央機關デアル所ノ日本林業會ガ、活動ヲ停止スルト云フコトガアツテハ國家的ニ見テ、法律上カラ言ヘバ、新ラシイ日本林業會ガ成立シタ時ニ、舊林業會ハ解散スルト云フコトデアリマスカラ、ソコニ時問的ノ間隔ハナイヤウデアリマスケレドモ、併シ舊林業會ハ、其ノ時ニスツパリト解散ヲシテ、清算ヲシテ職員ハ皆解雇スル、斯ウ云フ狀態ガ、現在ノ此ノ林業會法ノ九十一條ヲ假ニ削除スルト云フヤ

ウナコトニ依ツテ、新聞紙上等ニ發表セラレマスナラバ、現在ノ日本林業會ハ直チニ實際上活動ヲ停止セザルヲ得ナイダラウ、サウ云フ事態ガ今後新ラシイ林業會ガ活動ヲ始メル數箇月ノ間續クトスレバ、全國ノ森林組合及ビ木材業者ノ團體モ、指導スベキ唯一ノ全國的民間團體ガ、其ノ間隙除サレルコトニナル、ソレヲ恐レルト云フコトガ政府ノ最モ大キナ、之ヲ承繼スルコトニシタイ理由デアリマス、殊ニ最初カラ此ノ條文ガナケレバ別デアリマスケレドモ、中ニハ此ノ條文ガナクテモ事實上承繼スレバ宜イデヤナイカト云フヤウナ御意見モアリマシタ、是モ一應御尤モト思フノデアリマス、私共ハ此ノ承繼ト云フコトニ付テハ、左程強イ反對ガアラウトハ實ハ豫測シテ居ラナカツタノデアリマス、現在ノ社團法人日本林業會ノ性格カラ考ヘテ見テ、新ラシイ林業會ト性質ヲ異ニスル點ハアリマスケレドモ、其ノ目的ニ似通ツタ所ガ確カニアルノデアリマスカラ、之ヲ承繼スルコトニ付テハ、是ハ極メテ自然ナ事柄デアツテ、反對ガアラウトハ考ヘテ居リマセヌデアリマシタ、其ノ爲ニ茲ニ免稅等ノ關係モアリマスシ、「スミール」ニ引繼ガセル爲ニ一項ヲ設ケタ譯デアリマス、假ニ此ノ條文ガ、原案ニアツタモノガ議會デ削除サレルコトニナレバ、特ニ其ノ

衝動ハ、當初カラナカッタト云フコトヨリモ一層大キイ衝動ヲ與ヘルデアラウ、從ツテ今ノ林業會ノ活動ト云フモノハ著シク阻害ヲサレテ、殆ド停止狀態ニ陥ルト云フコトヲ恐レルノデアリマス、繰返シテ申シマスヤウニ、決シテ現在ノ日本林業會ノ立場ヲ、ソレヲ救済スルカ何ト云フヤウナ其ノ立場カラ考ヘテ、之ヲ強ク主張ヲ致ス譯デハ決シテナイノデアリマス、政府トシテ全國ノ林業指導上此ノ承繼ト云フコトガ必要デアルト云フ立場カラ主張ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一點ハ之ヲ承繼スルト云フコトハ官僚統制的ノコトヲ持續スル積リデハナイカト云フコトデゴザイマスガ、左様ナコトハ毛頭ゴザイマセヌノデアリマシテ、現在ノ日本林業會ノ財産トカ或ハ職員トカ云フヤウナモノハ一應引繼グコトニ致シマスケレドモ、併シナガラ會ノ運営ノ中心デアリマス所ノ役員ト云フヤウナモノハ全然別途ニ政府ノ意圖如何ニ拘ラズ、全ク民主的ナ構成員ノ集リデアリマス所ノ總會デ自由ニ選舉サレル譯デアリマス、其ノ自由ニ選舉サレマシタ役員ガ事業ヲ行フデアリマス、之ニ對シテハ政府ノ方ハ何等拘束ヲ致ス積ハナイノデアリマシテ、活動ノ爲ノ色々ナ資産其ノ他ノ形ハ引繼ギマシテモ、活動ノ原動力デアル所ノ役員デアルトカ、或ハ

議員ト云フヤウナモノニ付テハ何等政府ハ干渉スル考ハナイノデアリマス、法律ノ上ニモソレハ明カニナツテ居ルノデアリマス、左様ナ點ハ毛頭サウ云フ意思ハゴザイマセヌカラ御了承願ヒタイと思ヒマス

○松尾國松君

大臣モ見エタヤウデアリマスガ、今ノ御説明デハ私ハ能ク自分ノ疑問ハ解ケナイノデアリマスガ、ソレハドウ云フコトデアルカト云フト、林業會ガ成立ツタニ付テ、サウ云フ舊イ團體ノモノヲ其ノ儘、此處ヘ新タニ出來タ團體ニ、前ノ舊イモノガアツテ都合ガ好イノデ、ソレヲスボット入レタラ都合ガ好イ、ソレト同ジデアリマス、サウシテ官廳ハ國庫補助ヲ多額ニ爲スコトヲ理由トシテ、今日迄ノヤウナ干渉スル意思ハナイカト言ツタラ、サウ云フコトハナイト言フ、サウスレバ現在ノ既往ノ團體ガ多勢ノモノガ同意ヲスルニ依ツテソレヲ引受ケンナラヌト云フコトニナルト、此ノ林業會ト云フモノハ國庫ノ補助ヲ澤山ニ、經費多端ノ時ニ取ルガ爲ニ此ノ林業會ニ對シテ大キナモノヲスボット又被ルト云フコトニナルト、其ノ被ランナラヌト云フ理由ハ今ノ御説明デハ私ニハ分ラナイノデアリマス、サウデアリマセウ、例ヘバ此處ニ一ツノ團體ヲ作ル、元ニチヨット似タヤウナモノガアツテ、ソレハ國庫ノ補助ヲ受

ケテ居ルシ、財産ガアルシ、ソレデハ引繼ガヌデモ宜イデヤナイカト云フト、イヤ、ソコニハ大キナ使用人モアルシ誠ニ働キ易イ機關ダト思ツテ其ノ儘持ツテ行クノダ、丁合ガ悪い、ソレナフカシイコトデアルシ、ソレカラモウ一ツ此ノ林業會ト云フモノガ新タニ生レルニ付テ、サウ云フ舊イ團體ノモノガ何ノ爲ニ此處ニ入ツテ來ナケレバナラヌカ、之ニ付テハ今ノ説明デハ能ク分ラナイ、唯アナタガ斯ウヤツタ方ガ宜イト思フ、是ガ宜イト思フ、國ノ爲ニ宜イト思フ、斯ウ言ハレルケレドモ、是ハ四百萬圓ノ大金ヲ補助シテ居ルカラ、今ソシナコトヲ言ツテハドウニモナラヌカラ、之ヲ此處ニズツト押込マナケレバドウモナラヌ、斯ウ云フ風ニシカ聞エヌノデアリマス

○國務大臣(和田博雄君)

是ハド

ウ云フ經緯デスカ途中カラダ甚ダ相濟マヌノデアリマスガ、此ノ新ラシク出來マスル日本林業會ト、現在アリマス社団法人日本林業會トハ、是ハ性質上ハ丸デ違フモノデアリマス、併シ斯ウ云フコトニナルト致シマシテ、日本林業會ガ出來マシタ時ニモ、日本林業會ト云フモノハ直グ色々ノ事務的ナ仕事ト云ヒマスガ、マア日本林業會ガヤラナケレバナラナイ仕事ハドシ、實際上ハヤツテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、

ソコニ新ラシイ團體ガ出來マスルノニ付テ、空白時代ガアリマスト云フコトハ出來ルダケハ是ハ避ケタナ、斯様ニ政府ノ方トシテハ思フノデゴザイマス、ソコデ勿論今アリマス社団法人ノ日本林業會ガ解散ハスルノデアアルガ、其ノ權利義務ト云フモノヲ今度新タニ出來ル日本林業會ガ承繼ヲスル、承繼ハスルガ、併シ此ノ新タニ出來ル日本林業會ガ、丁度衆議院ニ於テ其ノ點ガ修正サレタヤウニ、此ノ負擔迄モ帶ビテシマフト云フコトハ是ハ避ケベキデアルト思フ、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ新タニ出來マスル日本林業會ガ成立シマシテモ、矢張り直グ此ノ空白ヲ生ゼズシマシテ、色々ナ指導其ノ他ノ事柄ガ出來マスルヤウニ滑ラカニ致シタイ、斯ウ云フ實ハ考デアリマス、從ツテ新タニ出來マスル日本林業會ト云フモノニ付テハ是ハ自主的ナル團體デアリマスルノデ、ソレ等ノモノノ役員其ノ他ノ點ニ付テハ、是ハ何モ政府トシテチヨットモ干渉ハシナイノデアツテ、之ヲ構成シマスル所ノ者ガ公平ナ立場カラ之ヲ選ブト云フコトヲサレ、便宜イノデアリマス、併シ出來マシタ團體其ノモノニハ、矢張りソコニ下部ノ組織ヲ必要トシマシテ、サウシテ直グ仕事ヲヤリ、色々ナ指導ナリ何ナリヤツテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラ、サウ云フコトヲヤレバ、新

タニ又人ヲ採ツタリナンカスル上ニ一々煩瑣ナル手續ヲ執ルヨリモ、實際上元カラアリマシテ而モ性質カラ言フト、或程度同ジヤウナコトヲシテ居ツタ部分モアル譯デアリマスカラ、又組織其ノモノカラ言ヘバ、ソレヲ引繼イデソコニ妙ナ空白的ナ時代ヲ起サナイ方ガ宜イ、斯ウ云フヤウナ意味デアリマシテ、片ツ方ニ非常ニ補助ヲヤツテ居ツタカラドウ斯ウト云フ考デ此ノ條項ヲ入レタ譯デハ實ハナイノデゴザイマスルノデ、其ノ點ハ一ツドウゾ御了承ヲ御願ヒ致シタイト斯ウ思ヒマス

○松尾國松君 時間モナイヤウデアリマスノデ、私ハモウ此ノ問題ハ繰返シマセヌガ、一ツ衆議院デ特別ニヤラレタト云フヤウナコトニ付テハ御注意ヲ願ヒタイ、モウ一ツ丁度大臣ガ見エルノデ更ニ承リタイノハ、今日ノ規格ト云フモノニ付テハ昨日ノ話ニ依ルト、二十七萬種カラ二萬種ニ減ツタト云フコトデアリマスガ、私ヲシテ言ハシムルナラバ、今日迄ノ規格位滑稽ナコトハナイ、私ガ仄カニ承ルト、大臣ハ餘リ林業ニハ玄人デヤナイ、斯ウ云フコトノヤウニ聞イテ居リマスガ、玄人デヤナイカラ一番宜イノデ話スノデス、玄人ニ話シテモ何ニモナラナイ、私ハ物價ノ事情ハアナタガ新ラシイカラト言ツテ、私ハ机ヲ叩イテ力ヲ入レテ御話シタノデスガ、ソレハ

別ニ攻撃スルノデモ何デモナイ、私ハ心カラ言フノデスガ、大體現在二萬種ノ規格ガアルト言ハレルガ、大臣ハ一ツデモ知ツテ居ラレカドウカ、斯ク申ス松尾ハ相當ニ第一線指導モシ注意モシテ居ルノニ私ハ一ツモ知ラナイ、ソナ風ナ統制ヲシテ置イテ、ドウシテ統制ガ行ハレルカト云フコトヲ先ツ素人ノ頭デ判斷シテ戴キタイ、是ガ一ツ、其ノ次ニハ今日ノ價格ヲ決メラレル、其ノ價格ヲ決メラレルト云フコトハ今ノ譯ノ分ラナイニ二萬種モ五萬種モ、場合ニ依レバ何十萬種モアツタ譯デアリマス、ソレカラ其ノ寸法ニ依ツテ價格ヲ決メテ居ル、是ハ恰モ終止點ノ終リノ所デボント堪ギマスルガ如シ、其ノ堪ギ出テ來ル材木ハ十里先カ、二十里先カ分ラナイ、サウシテ置イテ先ニキチツト價格ヲ決メル、此ノ位矛盾、不合理、大膽ナコトハ恐ラクナイ、處デ山ノ方デ其ノ先ツ押ヘタ結果ハドウカト云フト、御聞キニナツテ居ルデセウガ、逆算スルカラ山ノ方デハ只實ツテモ、私ハドンナ所デモサウ云フヤウナ所ヲ知ツテ居ルノデスガ、時間ヲ要スルノデ中シマセヌガ、今日ニ逆算スレバ只實ツタツテドウニモナラナイ、ソレデアアルカラ同ジコトナラバ山林所有者ノ原木ノ所ニ於テ適當ナ價格、即チ原價ヲ決メルコト、斯ウ云フノデス、サウスルト今迄ノ

本省ノ技術者ハ、幾ラ話シタツテ材木ノ實際ヲ知ラヌ人ノ寄リ集リデヤツテ居ルヤウナモノダカラ、幾ラ話シテモ分別ガ立タナイ、私ハ或外ノ省ノ大臣ト當時話シタコトガアルガ、其ノ時斯ウ言ハレタ、何トモ仕様ガナイ、技術者バカリデ決メテ是デ宜イト言フテ居ルカラ何トモ仕様ガナイト、斯ウ云フ話、私ハ全然惡イトモ何トモ言ハナイガ、今ノヤウナコトハ大膽ニヤルト云フコトナラバドウチガ大膽カト云フトコツチガ大膽デス、デアアルカラ今日國土ガ荒レマシタ爲ニ非常ニ植樹ヲ促進スル、サウ云フ意味ニ於テ山林所有者ハ、アナタノ案ニ依ツテ例ヘバ農地制度ト云フモノハ、農地ノ耕作者ヲ保護スルト斯ウ云フコトナンデスガ、サウスルト山林所有者ノ收入ヲ或意味ニ於テ確保スル意味ニ於テ、今ノ標準價格ヲ原木ノ所デ決メルト云フコトト、規格ト云フモノヲ最少クシテシマフ、例ヘバ是々ノモノハ斯ウヤレバ宜イ、斯ウ云フ風ニシテ貰フ、斯ウ云フコトヲ考ヘデ貰ヒタイ、其ノ次ニハ今ノ植樹デアリマスガ、アナタノ方ノ代理ノ政府委員ノ御説明ニハ官行造林ヤル、民有林ニモヤリタイガ、マダ豫算ガ決ツテ居ラヌデト斯ウ云フコトデアリマ

何デモ彼デモ國家トシテ國土保安ノ爲ニ植樹ヲ促進シナケレバナラス、之ニ付テ大臣ハ寧ロ林業ニ關係ナカリシ人ノ頭トシテドウ云フ風ニ考ヘラレルカ、是ダケ承ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(和田博雄君) 非常ニ根本ニ觸レタ御質問ナンデアリマスガ、ナカ／＼人一面非常ニムツカシイ點ダト私ハ思ヒマス、此ノ規格ノ問題ハ是ハ或意味カラ言ヒマス、公定價格ト言フモノニ伴フ弊害ト言ヘルト思フノデス、ト云フノハ公定價格ヲ決メマスルト云フト、今度ハ規格外ノモノヲ作ツテ業者ト云フモノハ闇ヤルト言ヒマス、利益ヲ得ル、斯ウ云フヤウナ面デ規格ガ亂雜ニナルモノアルノデアリマス、ソレト同時ニモウ一ツハ規格ガ出來マスルノニハ、矢張り一面カラ言フト需要ガ色々千差萬別デハナイカト思ヒマス、需要ガ多種多樣デアリマスノデ、其ノ需要ニ丁度適合シマシヤウナモノヲ生産者ガ作ルト、斯ウ云フコトニナル譯デアリマシテ、其ノ意味デノ規格ガ非常ニ亂雜デアルト云フコトモアルト思ヒマス、是等ノ規格ノ點ハ是ハ一面カラ言ヒマス、矢張り大量生産ヲ行ツタリ、又事實上ノ色々ナ生産ノ工程ヲ簡易化シ、技術ト云フモノヲ非常ニ簡素ニシテ發達サスト云フ點カラ言フト、規格ノ統一ト云フコトハ、是ハ大キナ見地カラ

必要ダト實ハ思フノデアリマス、併シ御話ノヤウニ木材ニ付テハ、是ハ私モ實ハ御話ノヤウニ素人ナデ、專門家デハアリマセヌガ、色々ナ規格ガアリマシテ厄介ナ點ガアルノデアリマスガ、要スルニ此ノ木材ノ公定價格ヲ決メ方ニ於キマシテ、實際上ノ需要供給ト言ヒマス、ソレ等ノ實情ト云フモノヲ今少シク分析シ、理解シテ業者其ノモノノ、矢張り業者ノ言ハバ公正ナ協力ト言ヒマス、サウ云フヤウナモノヲ或程度基礎ニシテ行キマセスト、其ノ問題ハナカ／＼解決シナイト思フノデアリマス、其ノ規格ノ點ニ付テハ大體私ハ左様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ立木ノ價格ト云フモノヲ、決メテ、ソレカラズツト製材迄及ンデ見タラドウカ、斯ウ云フ御話デアリマス、ソレハ私ハ矢張り一ツノ考ヘ方ダト思フノデアリマス、唯残念ナコトニ戰爭中デアリマスルガ、立木ノ公定價格ガ問題ニナリマシテ、先ヅ木材統制ヤル時ニハ一番ニ立木ヲ押ヘナケレバイカヌデヤナイカト云フコトガ、ヤカマシク昭和十四年ノ價格統制ヤル以後ニナツタ譯デアリマスガ、遂ニ今迄立木ノ價格ノ統制ト云フモノガ行ハレマセヌデ、逆ニ製品ノ方カラ來タモノデスカラ、ソコニ色々ノ矛盾モ起リ、ソレト同時ニ今度ハ木材ガ足ラナクナツテ來、色々ノ何ガア

リマスルガ、立木ノ値段ハ統制サレテ居ナイノデ、騰ツテ來テ居ル、ソコデ製材ノ方ハ押ヘテ居ルト云フコトデ、其ノ間ニ非常ナ開キガ出來テ來テ、實ハ色々困ツタ事態ガ起ツテ居ル譯デアリマスガ、是ハ實ハ立木ノ公定價格ト云フノハ實際上、技術上相當ムツカシイコトハムツカシイト思フノデアリマス、ソレ／＼立木ノ立地ト言ヒマス、サウ云フモノガ千差萬別ノ點モアリマスルノデ、可ナリムツカシイト思フノデアリマスルガ、或ハ最低ノ公定價格ト云ツタヤウナモノデアレバ定メ得ルカモ知レマセヌシ、サウ言ツタ點ハ今後物價ノ統制ヲ行ツテ行キマスル上ニ於キマシテ、是ハ一ツ虛心坦懷ニ研究シテ見タイト斯ウ實ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ植林ノ點デアリマスガ、植林ノ點ハ御話ノヤウニ非常ニ由ガ荒レテ居リマスルノデ、是ハ農林省トシマシテモ五箇年計畫ヲ組ミマシテ、其ノ一部ハ二十一年度ノ豫算ニ組ミマシテ造林ノ計畫ヲ立ツタ譯デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハソレヲ以テ十分ダトハ實ハ考ヘテ居ナイノデアリマシテ、森林資源造成法等ノアノ法律ニ依リマスル色々ノ造林ノ單價ハ騰ツテ參ツタ譯デアリマスガ、尙サウ言ツタヤウナ制度ヲ考ヘルノミナラズ、實際上例ヘバ木ヲ植エルニシマシテモ、苗ノ點デ既ニ餘リ多クノモノ

ヲ期待出來ナイ現狀デアリマスル
ノデ、サウ云フモノヲ矢張り元カ
ラ殖ヤシテ行クト行フコトヲ是非
ヤリマシテ、御話ノヤウニ山ガ荒
レルノヲ防グノミナラズ、全跡地
ノ綠地化ト云フコトヲ致ス考ヘデ
居リマス、二百七十萬町歩ト云フ
コトニナル譯デアリマスガ、ソレ
等ノモノハ是非綠地化スルヤ
ウニ計畫ヲ立テマシテ、今後ト雖
モ其ノ點ニ付キマシテ森林組合、
或ハ其ノ他ノ業者ノ協力ヲ得マシ
テ、是非實現シタイト斯ウ考ヘテ
居リマス

○松尾國松君 マダ御尋シタイケ
レドモ、外サンノ邪魔ニナリマス
デ止メテ置キマスガ、モウ時間モ
ナイヤウデ置キマスガ、希望ヲ述
ベテ置キマスガ、ドウゾ大臣ハ新
ラシイ頭デ、今迄ノ部下ノ人ノ情
性ノ外ニ立ツテ、サウシテ新ラシ
イ頭デ考ヘテ置キマス、是ダケ希
望ヲ致シテ置キマス

○委員長(子爵北條信八君) 皆サ
ンニ申上ゲマスガ、農林大臣ハ是
カラ衆議院ノ方ノ農地調整並ニ豫
算總會ノ方ニ行カレル必要ガアリ
マスノデ、大臣ニ對スル御質問ノ
方ハ此ノ際成ルベク簡單ニ御質問
願ヒタイト思ヒマス

○子爵青木重夫君 私ハ先日松尾
サンカラ御質問ガアリマシタケレ
ドモ、林野ノ所有ノ形態ニ付テ御
伺シタイノデアリマス、ソレハ大
臣ガ衆議院ニ於テ里山ハ小サク分

割スルコトヲ考ヘラレルガ、奥山
ノ方ハ分割シナイト云フヤウナコ
トヲ仰シヤツタコトガ新聞紙ニ現
ハレテ、多少誤解ヲシテ居ル向モ
アルヤウニ存ジマスガ、里山ト云
フ言葉ハ、私ハ能ク存ジマセヌ
ガ、農地ニ近イ山グラウト想像シ
マスガ、是非農業上必要ナモノト
シテ、農家ニ利用セシメルコトハ
必要ナコトデアルト思ヒマスガ、
小サク分割スルト云フコトハ、森
林經營ノ上カラ甚ダ面白クナイコ
トダト思ヒマスシ、奥山ノ方ハ、
是ハ大臣ノ仰シヤル通り、無論大
キナ面積デ經營スルノガ、治山治
水ノ上カラ當然ナコトデアリマス
シ、社會黨ノ方面デ主張スル奥山
ノ小分割ハ私モ反對スル所デアリ
マスガ、此ノ點ニ付テ新聞紙ノ報
道ガ非常ニ足りナカッタノデ、誤
解シ且心配シテ居ル向モアルト思
ヒマスガ、農地調整法ノ如キモノ
デハナイガラウト想像致シマス
ガ、此ノ際モウ少シ明確ニ御答辯
願ヒタイト存ジマス

○國務大臣(和田博雄君) 大體御
話ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマ
シテ、此ノ里山ト云フモノハ、是
ハマア農耕地ニ大分近イ土地デア
リマシテ、是等ノ點ニ付テハ、是
ハ矢張り農業ヲヤツテ居リマスル
モノノ經營ト言ヒマスガ、生活ト
云フカ、サウ云フコトヲ矢張り考
ヘマシテ、十分之ヲ利用サセテ行
ク、斯ウ云フコトガ必要ガラウト

斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、併
シ里山ニ付テ特ニ農地調整法見タ
ヤウナモノヲ作ツテ分割スルト云
フコトヲ私ガ言ツタノデハナイノ
デアリマス、唯今回ハ此ノ開墾地
ト未墾地ノ開拓、サウ云フ點カラ
觸レマシテ、開墾ヲヤリマスニ付
キマシテモ、唯土地ヲ拓イタダケ
デハ迎モ生活ハ出來ナイノデアリ
マシテ、サウ云フ開墾ヲヤリマス
ル所ハドウモ山地ガ多イノデアリ
マセウカラ、サウ云フモノニハ矢
張り薪炭トカ、採草地トカ、サウ
言ツタモノガ必要デアレバ、サウ
云フモノモ附屬サセル、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ行キタイ、斯ウ思フノ
デアリマス、奥地林ハ是ハ御承知
ノ通り治山治水ノ點カラ言ヒマシ
テモ、又森林ノ性質カラ言ツテ
モ、經營ノコトカラ言ツテモ、
小サイ資本デハナカ／＼經營出來
ルモノデハナシ、サウ云フモノガ
合理的トハ考ヘテ居ナイノデアリ
マシテ、是等ノモノニ付キマシテ
ハ、寧ろ經營形態ト云フモノハ大
キクテモ宜イデヤナイカ、斯ウ私
ハ考ヘテ居リマス、經營形態ガ大
キイト云フコトハ別ニ民主主義ニ
反スルコトデモナシ、是ハ十分兩
立スルモノデモアリマスシ、又森
林ノヤウナ、斯ウ云フモノハ矢張
リサウ言ツタ治山治水、其ノ他ノ
色々ノ點カラ考ヘテ經營ヲヤツテ
行クベキモノト、斯ウ考ヘテ居リ
マスルノデ、衆議院ニ於テモサウ

云フヤウナ趣旨ニ於テハツキリト
御答ラシタノデアリマス

○子爵青木重夫君 御説明デ能ク
分リマシタガ、今般財産稅等デ森
林ノ物納等モ相當行ハレルト思ヒ
マスシ、里山ニ對シテモ小サク分
割シナイデ、農民ニ利用セシメル
方法ヲ御考ヘ下サルヤウニ希望シ
テ私ノ質問ヲ打切りマス

○竹下豐次君 私ハ林業會ノ機構
ノコトニ付テ大臣ノ御意見ヲ承リ
タイノデアリマスガ、都道府縣ノ
林業會ト云フモノハ、マア森林組
合ト林産家ガ集ツテ、其處ノ代表
者ガ日本中ノ組織ニ入ルコトニナ
ル、一應是デ宜イヤウデアリマス
ケレドモ、是デハ職別ノ、例ヘバ
森林組合モ今日ハ全國森林組合ト
云フモノヲ作ツテ、何カ斯ウ、詰
リ下意上達ト申シマスガ、上意下
達ト申シマスガ、斯ウ云フ點ニ於
テドウモ地方ノ代表者ノミデ中央
ガ組織サレルト云フコトヨリモ、
地方、中央ヲ通ジテ矢張り業種別
ノ組合ガ上ニ出來テ行クト云フコ
トガ、總テニ於テ民主的ニ行ハレ
ルト云フコトニナリハシナイカト
思ヒマスガ、此ノ點ハ如何ナモノ
デアリマセウカ、モウ一ツ承リタ
イコトハ、是ハ今回ハ暫定的ノモ
ノデアルト云フ御説明デアリマス
ルガ、將來之ヲ御變ヘニナル時ニ
ハ、今私ガ申上ゲタヤウナコト
デ、要スルニ職別ノ組合ガ全部上
ヘ行ツテ、上デ之ガ統一サレ、地

方ハ地方デ矢張り斯ウ云フ林業會
ガ組織セラレテ、要スルニ縱横ガ
キチツト連絡ヲ保ツト云フコトデ
ナケレバ、民意ノ暢達ト云フコト
ニハナラナイカト思フノデアリマ
スガ、殊ニ民主的ノ經營ト云フコ
トハ、上カラノ命令ガ矢張り全國
的ニ統一サレルト云フヤウナ方向
ニ向ヒタイト思フノデアリマス、
將來此ノ組織ガ變ハル時ニハ、サ
ウ云フヤウナ御考ヲシテ戴クコト
ハ出來ナイカト云フコトデアリマ
ス、モウ一ツ承リタイコトハ、過
日來色々御質問致シマシタガ、今
日ノ木材ノ需要者ト云フモノハ、
甚ダ何ンデアリマスガ、相當有力
ナンデアリマス、デスカラ、斯ウ
云フ力ガ、矢張り或程度斯ウ云フ
組合ヲ通ジテ、他ノ方ニ協力マス
ルト云フコトガ、總テニ於テ都合
ガ好クハナイカト思フノデアリマ
ス、殊ニ價格ノ統制或ハ配給ノ適
正、消費ノ規正ト云フヤウナ意味
ニ於テモ、矢張り之ガ協力スル形
ノ方ガ良クナイカト思ハレルノデ
アリマスカラ、將來此ノ組合ガ變
ハル場合ニハ、此ノ特別委員トカ
何トカ云フ形態デナク、斯ウ云フ
消費者モ此ノ組合ニ參加シテ、相
協力シテ、此ノ木材ノ増産及ビ山
林ノ育成ト云フコトニ努メルト云
フ形ノ方ガ宜クハナイカト思フノ
デアリマスガ、此ノ點併セテ大臣
ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(和田博雄君) 最初ノ

○國務大臣(和田博雄君) 最初ノ

○國務大臣(和田博雄君) 最初ノ

點ハ、日本林業會ノ構成ニ關スルモノデゴザイマスガ、是ハ御話ノ點御尤モナ點ガアルト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ於テ今回ハマア需要者團體、而モ此ノ需要者團體ノ全國的ナモノガ、日本林業會ニ參加スルト云フ事柄ハ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、是ハ法律九條デ「林業ニ密接な關係を有する事業を營む者又はこれらの者の團體で定款で定めるもの」ト云フコトニ依リマシテ、マア需要者團體ノ全國的ナモノガ入ルト云フコトニ致シマシテ、其ノ間ノ調整ヲ執ツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ將來之ガ直リマスル時デゴザイマスガ、是ハ大體ニ於テ一應ノ暫定的ナモノデゴザイマスルノデ、將來林業ニ關シマスル團體ヲドウ云フ風ニシテ行クカト云フコトニ付テハ是ハ今後各方面ノ矢張り知識ヲ集メマシテ十分御検討ヲ願ヒタイト思フ居ル次第デアリマスガ、勿論價格配給等ニ付テノ事業統制ト云フコトヲヤリマスル時ニハ、是ハ全國的ナ團體ノ代表者ト云フモノヲ林業委員會ノ中ニ入レマシテサウシテ之ヲ運営シテ行クト云フコトガ當然考ヘラレルコトデアリマシテ、又我々モ左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ林業會ノ構成ノ矢張り主流ヲナシマスモノハ何ト申シマシテモ森林ノ所有者ノ方ノ團體ト、ソレカラ林業業者ノ團體デアルト云フ

フ點ハ、是ハドウモサウダト思フノデアリマスガ、勿論此ノ需要者、消費者ノ方ノ利益ト云フモノヲ無視ハ出來ナイノデアリマシテ、十分消費者ノ方ト生産者ノ側ト協調ガ巧ク行キマスコトガ團體法トシテ望マシイコトデアリシ、團體ノ色々ナ事業ヲ行ツテ、殊ニ統制的ナ事業ヲ行ツテ行キマス上ニ於テハ必要デゴザイマスノデ、其ノ點ニ付テハ需要者ノ方ノ意思ガ十分反映致シマスルヤウニ特別議員ノ制度ヲ設ケテ居リマスシ、本法ニ於テモ十分其點ニ付テハ考慮致シテ居ル譯デアリマス、是ハ必要者ノ團體ガ此ノ際組織ノ中ニドウ云フ形デ入ツテ來ルカト云フコトハ、ソレハノ業ノ團體ニ依ツテ異ツテ來ルト思フノデアリマス、林業ナシカハ是ハ相當廣範圍ノ需要ヲ持ツテ居ル基本的ナ物資デアリマスノデ、消費者ノ方ノ利益ト言ヒマスカ、消費者ノ意思ガソコニ何等カノ形デ入ツテ來ルト云フコトハ是ハ相當重要ナコトダト私自身ハ考ヘテ居リマス、今回モ其ノ點ニ付テモ林業委員會ノ構成ニハ當然入ルヤウニ致シテ居リマスシ、又特別議員ノ制度等ヲ設ケマシテ、需要者側ノ意思ガ反映シ、又ソレトノ連絡ガ取レルヤウニ致シテ居リマス、勿論根本的ナ團體統制法ヲ考ヘマス場合ニ於テモ、十分ソレ等ノ點ヲ研究致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○男爵平山洋三郎君 チョット二點ダケ大臣ニ御伺シタイト思ヒマス、一ツハ木材ノ配給統制ニ付テ、今度ノ自主的ナ仕方デ巧ク行ケバ結構デアリマスケレドモ、價格、規格、色々ナ問題ガアツテ而モ需要ト供給ノ「バランス」ノ到底合ハナイ、更ニ將來ヲ考ヘテモ食糧ヨリモ木材ノ方ガ遙カニ私ハ深刻デアルト思ヒマス、一方デハ住宅ノ不足ノコトダケ考ヘテモ容易ナラヌ社會不安ヲ現ニ持ツテ居リ、更ニソレガ適當ニ解決サレヌ場合ニハ政府ニ對スル信頼ヲ失ハセルヤウニ段々ナリハセヌカ、ソコデ此ノ配給統制ヲ實行シテ行クトスレバ實際問題トシテハ食糧ノ配給統制以上ノ何等カ強力ナ徹底的ナ手段ガ或範圍ニ於テハ必要ナノデハナイカ、ケレドモソレハ色々ナ事情モゴザイマセウカラ、配給統制ノ「ルート」ニ付ツテ行ケルモノハ極力乘セテ、必要ナモノヲ必要ナ時期ニ必要ナ所ニ是非共持ツテ行カネバナラヌ、併シドウシテモソレハ非常ニ不足ヲ生ジマスカラ、昨日モチヨット御話ガアリマシタケレドモ、外材ヲ輸入スルトカ、ソレカラ國有林其ノ他ガ一緒ニナレバ尙ヤリ易イ點モ生ズルデアリマセウシ、或ハ民有林デモ或一部ノモノニ付テ國家ガソレノ伐採ヲ自ラシ、又若シクハ自ラ輸送スルトカ、何等カ特ニ必要ナル範圍内ノ木材ニ付テハ配給統制ト

併行シタ物ノ直接ノ面ノ處置ヲ餘程必要デハナイカト私ノ愚見デ思フノデアリマスケレドモ、ソレ等ニ付テ外材輸入其ノ他極力御努力シテ居ルコトト思ヒマスガ、幸ヒ御出席ニナリマシタカラモウ少シ此ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、ソレガ一ツデアリマス、モウ一ツハ何分ニモ狹イ日本全體ノ事情カラ考ヘテ、山林、林業林政、山地ノ利用、要スルニ此ノ森林若シクハ林業關係ト云フモノハ農業ノ問題ト並ビ非常ニ國家ノ維持、社會ノ維持、國民ノ精神ノ維持、生活ノ維持、或ハ風景ノ資源ノ維持、色々ナ問題カラ申シテ、食糧ノ問題或ハ農業ノ問題ヨリモモツト實ハ大キナ問題デアラウト思フ、ニモ拘ハラズドウモ從來林政、林業ニ對スル重要性、或ハ國民ノ一般ノ關心、知識、サウ云フコトガ非常ニ足リナイト私思フノデアリマス、其ノ邊ニ付テ根本的ニ例ハバ地方デ農地ニ付テハ農地法ガ非常ニ御盡力ノ結果段々進行シテ居ル、ソレガドウ云フ風ニ運用サレルカ能ク分リマセヌガ、林野ニ付テノサウ云フ管理ノ關係ガ非常ニ錯雜シテ居ル、或ハ林道其ノ他ガ非常ニ不備デアルト云フコトガ、結局頻リニ先般來此處デモ議論ガ御出ニナリマスヤウニ、森林所有者ノ立場ガ適切ニ保護サレナイトカ、色々ナコトニナツテ來ル理由ニモナリマス、配給統制上ニモ根本スルムツカシイサウ云フ條件ガアルカラナカ、巧ク行カナイ點ガアリマスカラ、是ハ遲時ノヤウデアルケレドモ、矢張り山林全體ニ付テノ基本的ナ綜合的ナ調査ヲオヤリナルトカ、或ハ大キナ委員會ノヤウナモノヲ設ケテ今後ノ林政ノ根本ニ付テ研究法ヲ立テルトカ、或ハ少クトモ本土全體ノ林政林業ノ組織ノ統一デアルトカ、或ハサウ云フ管理關係ノ交換分合、所謂昔カラ問題ニナツテ居リマス林野ノ整備ト云フコトガアリマスケレドモ、サウ云フヤウナコトヲ農地ノ問題ト併行シテ早ク是ハヤラナケレバナラヌヤウニ思フノデアリマスケレドモ、其ノ邊ニ付テノ何カ御考ガゴザイマス、其ノ二點ダケチヨット伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(和田博雄君) 御答ヘ致シマス、此ノ林業會法ニ依リマス統制ハ自治統制ヲ實ハ中心ニ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、是ハ出來ルダケ自治統制デ、業者側ノ自覺ト、ソレカラ御互ヒノ協力ニ依ツテヤツテ行ツテ貰フ積リデアリマス、又ソレガ本當ニスク、ト伸ビマスコトガ非常ニ望マシイノデアリマスガ、是ハ併シ必要已ムヲ得マセヌ場合ニ於キマシテハ臨時物資需給調整法ノ發動ニ依リマシテ、ソコニ國家ノ權力ト申シマスガ、サウ云ツタモノガ出マシテ、木材其ノ他ノ統制ヲヤル

ト云フ場合ガアルト思ヒマス、併
シ出來得ベケンバサウ云フコトニ
行カズシテ、此ノ供給ト需要トガ
「マッチ」シナイノハ勿論デアリ
マスガ、其ノ「マッチ」シナイ所
ヲ、需要ヲ重點ノニ切ルトカ、或
ハ供給ノ面ニ於テ工夫スルトカ、
色々ノ點デ自主的ナソコニ計畫ヲ
立テ、其ノ自主的ナ計畫ニ基キ
テ巧ク統制シテ行ク、斯ウ云フ風
ニ運シテ行キタイト思ヒマス、併
シ勿論場合ニ依リマシテハ、御話
ノヤウニ臨時物資供給調整法ノ發
動ニ依リマシテ、ウマク行カナイ
缺陷ヲ補ツテ行クコトハ當然考ヘ
テ居ル次第デアリマス、ソレカラ
第二ノ點ニ付キマシテハ私ハモウ
御同感デアリマシテ、山林關係
ガ、殊ニ此ノ資源ノ乏シイ日本ニ
於キマシテハ、重要ナモノデア
ルコトハ常識デアリマシテ、而モ
ソレ等ノ制度其ノ他ノモノニ付キ
マシテハ、山ハ農地以上ニ色々ナ
ニ於テ長イ傳統ヲ持チ、古イ色々
ナ法制ガアル譯デアリマシテ、林
政ニ付テハ根本的ナ方向ヲ確カメ
ルコトハ是ハモウ必要デゴザイマ
スルノデ、何カ一ツノ委員會力調
査會ノヤウナモノヲ私トシテ作リ
マシテ、林政ノ根本ノ策ニ付キマ
シテ、是ハ權威アル方々ノ御協力
ヲ得テ確ツカリシタモノヲ作リマ
シテ、國ノ本ヲ培フト云フコトヲ
是非致シタイ、斯様ニ考ヘテ居
ルヤウナ次第デアリマス

○委員長(子爵北條傳八君) 御諮
リ致シマス、委員外議員ノ土屋子
爵ヨリ質問ヲ求メラレテ居リマス
ガ、之ヲ許可スルコトニ御異議ガ
ゴザイマセヌカ

○委員外議員(子爵土屋尹直君)
「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○委員長(子爵北條傳八君) 御異
議ナイモノト認メマス、土屋子爵
御時間ノナイ所ヲ罷リ出マシテ恐
縮デゴザイマスノデ、極ク簡單ニ
切上ゲタイト存ジマス、實際問題
ノ話デゴザイマススケレドモ、今回
出來ル林業會ノ目的ガ森林ノ維持
造成、木材、薪炭等ノ生産販賣ノ事
業ヲ目的トシテ居ルト云フコトデ
ゴザイマスノデ、結局森林ノ所有
者、私ハ此ノ所有者ト云フノハ、
土地ノ所有者ノヤウナ感じヲ起シ
テ非常ニ残念ニ思フテ居ルノデア
リマス、私ハソコデ所謂森林ノ造
成者ト云フコトヲ言フノデアリマ
スガ、ソレト木材業者並ニ薪炭業
者トノ自由且民主的ナル圓滑ナ提
携ガ第一問題デ、ソレガ主眼デア
ルト思フノデゴザイマス、ソレニ
付キマシテ極ク一點ダケ、全部省
キマシテ伺ヒタイノデアリマスケ
レドモ、所謂地本社ノ戰時中ニ行
ツタ契約ガ、マダ地本社ノ手持林
トシテ殘ツテ居ルノデゴザイマシ
テ、是ハ日本社ニ移リマシテカラ
其ノ儘移ツテ居ルノデアリマス
ガ、此ノ契約ノ分ヲ解決スルコト
ハ、其ノ中デモ森林所有者ノ圓滑

ナ提携ト云フ點ニ於テ一番大キナ
問題ニナラウト思フノデゴザイマ
ス、ソレデソレハ當時斯ウ云フ統
制會社デゴザイマスノデ、相當ナ
壓力モアリ、事情ニモ通ジテ居リ
マスモノデ、所謂軍隊ノ壓力ヲ藉
リマシテ無理矢理ニ契約ヲ致シテ
居ルノガ多イノデアリマス、サウ
シテソレハ森林所有者トシテハ所
謂正義契約デアリ、愛國契約デア
ツタノデゴザイマシテ、地本社ト
致シマシテハ其ノ當時ハ勿論愛國
的ニ行ツタノデアアルトハ思ヒマス
ケレドモ、イザ實際ニ兵力伐採ヲ
始メマシタ時ニナリマス、別ノ
山ヲ伐ラセマシテ、飽ク迄利益追
求主義デ兵力伐採忌避ノ行爲ニ出
デテ居ルノガ多イノデゴザイマ
ス、從ツテ其ノ後ニナリマシテ此
ノ契約解除ノ問題ガ起キマシテ
モ、依然トシテナカク解除ニ應
ジナイデ其ノ儘ニナツテ居ル契約
ガ殘ツテ居ルノデゴザイマス、サ
ウシテ斯カル契約ニ對シテ解決シ
テ置クト云フコトガ、自由民主的
ナ林業會ヲ作ルト云フコトニ非常
ニ貢獻スルモノダラウト思フノデ
ゴザイマス、ソレデ其ノ契約ニ付
テ、何カ即時契約解除ヲナサル、
之ニ付キマシテハ、飽ク迄利益追
求主義デ來テ居リマスモノデ、先
年ノ十一月ニナツテ統制價格ガ三
倍ニナリ、又今回統制價格ヨリモ
更ニ高イ協定價格ガ出來ヨウトシ
テ居ルノデ、ナカク解除ニ應ズ

ルモノデハナイノデゴザイマス
ガ、之ヲ解決シテ戴キタイト思フ
ノデゴザイマス、サウシテ或ハ既
ニ第二封鎖預金ノヤウナモノニナ
ツテシマヒマシタモノデ、山林所
有者トシテ非常ニ迷惑ニ思フテ居
ルノデゴザイマス、ドウシテモ契
約解除ガ出來ナイノデアアルナラ
バ、契約林ヲ眞ツ先ニ此ノ際伐採
シテ賣ヒタイ、サウシナイト云フ
ト、ドウシテモ山林所有者ノ方ハ
協力スルノニ快シトシナイト云フ
ヤウニ思フノデゴザイマス、此ノ
點ト、ソレカラ大體ニ於テ其ノ性
格ハモウ既ニ此ノ委員會デ御説明
ニナツテ居ルノデゴザイマスケレ
ドモ、山林所有者ト森林業者、木
材業者ト云フモノノ性格ハ全然違
フノデゴザイマシテ、片方ハ餘裕
ノアルモノデアリ、地方ノ有力者
デアツテ、飽ク迄正義的ニモノヲ
見ルト考ヘラレルノデゴザイマス
ガ、片方ノ方ハドウモ兎角現在ニ
於テハ闇行爲ヲ盛ニシテ居リマ
ス、之ヲ實際ニ山林所有者ノ方デ
指摘致シマスト云フト、製材業者
ノ方ハ何シロ若イ者ガ澤山傭ツテ
アリマスノデ、ドウシテモ所有者
ノ方ハ闇ヲ默認シナケレバナラ
ナイ、又闇ニ引込マレナケレバナ
ラナイト云フヤウナ狀態ニナツテ居
ルノデゴザイマス、從ツテ、餘リ
長クナリマスカラ、唯此ノ戰時中
ノ手持ニナツテ居ル契約ヲドウ云
フヤウニ御扱ヒニナツテ下サルモ

ノダカ、其ノ點ダケヲチヨツト伺
ヒタイト存ジマス
○國務大臣(和田傳雄君) 御答ヘ
致シマス、戰時中ニ地本社ハ賣リ
マシタ立木ハ、實ハ去年ノ十一月
ニ木材ノ値上ヲ行ヒマシタ際ニ、
森林ノ所有者ニ返還致シマスルト
カ、或ハ契約ノ更新ヲスルトカ、
サウ云フヤウニ指導致シマシタ、
併シソレデマア大體各地適宜ニ
協定ヲシタ譯デアリマスガ、御話
ノヤウニ殘ツテ居リマスモノニ付
キマシテハ、只今言ヒマシタヤウ
ナ方針デ、森林所有者ニ返シマス
ルトカ、又適當ナ條件デ更新スル
トカ、サウ云フヤウニ指導シテ行
キタイト、斯ウ考ヘマス
○委員外議員(子爵土屋尹直君)
分リマシタ
○委員長(子爵北條傳八君) 農林
大臣ニ對スル御質疑ハ他ニゴザイ
マセヌデスカ
○男爵松平外與廣君 簡單ナコト
デアリマスガ、今年ノ冬ノ燃料問
題ト云フモノハ相當逼迫シ、又考
ヘナケレバナラヌコトト思ヒマ
ス、殊ニ電氣ニ致シマシテモ、瓦
斯ニ致シマシテモ、新聞紙上デ見
マスレバ、相當瓦斯ノ制限モス
ル、又電氣ノ方モ制限スル、ト致
シマスレバ、ドウシテモ薪炭ヲ以
テ燃料ニ代ヘナケレバナラヌト云
フコトモ考ヘ得ルノデアリマス
ガ、昨年ノ様子ヲ見マス、可ナ
リ薪炭ガ不足シマシテ、各家庭デ

モ困ツテ居リマシタ、併シ一部ニハ、戰災ト云フモノヲ利用致シマシテ、燒野原ノ木ヲ片ツ端カラ伐ツテ使ツタ、ソレデ薪炭ノ補充モ出來タト云フ事實モ否定スル譯ニ行カナイト思ヒマスガ、本年度ノ冬季ニ於ケル家庭用ノ燃料トシマシテノ薪炭對策ニ付キマシテ、農林當局ハドウ云フ御考ナノカ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(和田博雄君) 實ハ其ノ點ハ私モ非常ニ心配致シテ居ル點デテリマシテ、是ハ寒クナリマセヌウチニ一ツ是非薪炭ノ對策ヲ立テマシテ、閣議決定ヲ願ヒマシテ、是ハ集中的ニ一ツヤツテ行キタイト思ツテ居リマス、今大體ノ案ハ出來タ譯デアリマスガ、今迄ハドウ云フヤウニヤツタカト言ヒマス、夏山ノ増産運動ヲ起シマシテ、夏ノ内ニ山ノ運び易イ所迄荷下シテ置クト云フコトガ一ツト、ソレカラ夏薪炭ヲ増産サスト云フコトデ、木炭處置ヲ始メ色色山ヲ驅ケ廻リ廻リマシテ増産ノ督勵ヲ致シテ居リマス、併シソレダケデハ十分デアリマセヌカラ、只今申シマシタ此ノ冬ノ對策ニ付テノ方針ト言ヒマス、個々ノ具體的ノ對策ヲ決メマシテ、是ハ是非閣議決定ヲ經マシタ上デ直チニ實行ニ移シタイト斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ何ト云ヒマシテモ一番ノモノハ矢張り食糧デアリマシテ、炭燒ガドウモ山ヲ下リテ來ル

ノガ現狀デアリマス、ソコデ差當ツテ十月ニ於キマシテハ是ハ薪炭ニ付テノ加配ヲヤルト致シマシテモ、米トカ其ノ他ノ物ヲ以テハナカナカ出來難イ點ガアリマスノデ、幸ヒマア甘藷ガ相當今年ハ豐作デアリマスルノデ、先般モ東京ノ關東ノ地方次長ト云フノデスカガ來マシテ、矢張り甘藷ヲ岩手トカ福島デアリマス、岩手トカ岩手ニ送りマシテ、ソレデ一應補ヒラ付ケテ戴イテ置イテ、十一月位カラハ米ガ出廻ツテ來ルヤウニナリマスレバ、サウ云ツタ食糧ノ方ノ手ヲ打チマシテ、是ハ炭燒ガ山ヲ下リマセヌヤウニ致シマシテ増産ヲ願フ、斯ウ考ヘテ居リマス、食糧問題ノ方ガ片付キマス、實ハ大半ガ片付クノデアリマス、アト殘ルノハ價格デアリマスガ、價格ノ點ハ是ハ物價廳ガ價格ノ主管廳ニナツテ居ル譯デアリマス、ノデ、是等ニ付テハ又十分物價廳ト打合セラサセマシテ、早速遅レマセヌヤウニ一ツ手ヲ打チタイト思ツテ居リマス、今年ハ石炭モ思ハシクアリマセヌシ、又御話ノヤウナ點デ去年ノヤウニ暖イ冬デアルカドウカハ分リマセヌノデ、電力其ノ他ガ使ヘマセヌト、燃料ノ方ハ皆炭ノ方ニ來ルノデハナイカト斯ウ考ヘテ居リマス、是非其ノ點ニ付テハ出來ルダケノコトヲヤリマシテ、遺憾ノナイヤウニ

致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵松平外與廣君 只今ノ簡明ナル御説明ニ依リマシテ大體了承致シマシタ、仰シヤイマス通り、木炭ニ付キマシテハ餘程御困難ノコトモアラウト思ヒマス、殊ニ山ニ居リマス所ノ勞務者ノ食糧問題、又酒ノ問題、色々ノコトガ絡ツテ居ルノデナカ、御骨折タト思ヒマスガ、何ト申シマシテモ燃料不足ノ時代ニ其ノ主要燃料ガ來ナイト云フコトハ如何ニモ困ル譯デ、氣ノ毒ニ思ヒマス、只今ノ御話ヲ承リマシテ、ドウゾ十分ニ御努力下サイマシテ、所謂冬ノ燃料ノ心配ガナイト云フ位ノ御盡力ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○竹下豐次君 此ノ法律ハ何時頃カラ施行サレル豫定ナンデゴザイマセウカ、ト申シマスノハ、協定價格トカ云フヤウナ問題ナドトノ關係ハドウ云フコトニナルノデスカ、安定本部ガ中心ニナツテ研究サレルト云フヤウナコトデモアルノデスカ

○政府委員(平川守君) 成立ヲ見マスレバ、出來ルダケ速カニ施行致シタイト思ヒマス、但シ只今御話ノ價格ノ問題等ハ必ズシモ是ト不可分ノ關係デハアリマセヌノデ、價格ノ問題ハ價格ノ問題デ又別途ニ速カニ進行スル、是ガ施行ニナリマシテモ、唯團體ノ機構ダケガ進行スル譯デアリマシテ、木材統制ナリ價格ノ問題ハ別ノ法制

ニ依ル譯デアリマシテ、其ノ方デヤル譯デアリマス

○子爵西大路吉光君 私人議事進行ニ付テ發言ヲ致シタイト思ヒマス、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、宜シウゴザイマス

○委員長(子爵北條篤八君) ドウゾ

○子爵西大路吉光君 此ノ林業會法案ニ付キマシテハ、一昨日以來各委員ノ御方ガ熱心ニ論議致サレ、又ソレ等ニ對シテ政府委員ヨリ縷々御答辯モアリマシテ、又殊ニ大臣ハ御忙シイ真中御繰合セテ下サツテ、サウシテ御出席ニナツテ、答辯ノ衝ニ當ツテ戴イテ居ツタノデアリマスガ、本案ハ御承知ノ如ク衆議院ノ修正ニナツテ居ル案デゴザイマシテ、是等ニ付キマシテモ既ニ皆サン御承知ニナリ、又ソレ等ニ付テノ御質疑モアツテ御分リニナツタコトト思ウテ居ルノデアリマス、ソコデ要スルニ此ノ委員會ニ付託ニナリマシタ此ノ案件ニ付テハ、モウ大體皆サンノ御了解ガ得タコトト思フノデアリマス、ソコデ細カク致シマスレバ實際モナイカト存ジマスケレドモ、大體此ノ程度ニ於テ質問ヲ打ち、後ハ討論、採決ト云フ段取ニ致シタラバ宜イカト思フノデアリマスガ、ドウゾ左様ニナリマスヤウニ皆サン御賛成ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○委員長(子爵北條篤八君) 御質問ハ全部終了シタモノト認メマシテ、御異議ゴザイマセヌカ

○異議ナシト呼フ者アリ

○委員長(子爵北條篤八君) 御異議ガナイモノト認メマシテ、直チニ討論ニ移リマス、林業會法案ヲ議題ト致シマス

○松尾國松君 私は是ダケノ意見ヲ申シテ衆議院修正ヲ原案トスルモノニ賛成致シマス、一林産物ノ價格及ビ規格ノ統制ニ付テハ、林業ニ經驗ヲ有スル民間人及ビ需用者代表ノ意見ニ依ルコト、二森林造成ヲ促進スル爲山林所有者ノ原本價格ニ付カ定スルコト、三林業法案衆議院修正ノ第九十一條第二項日本林業會ヨリ承繼スル財産評價ニ付テハ、向會ハ國庫ヨリ多額ノ補助ヲ受ケテ居ル關係上、特ニ公明正確ニスルコト、此ノ三ツノ意見ヲ付シテ、衆議院修正ノ原案ニ賛成致スモノデアリマス

○子爵青木重夫君 私は此ノ法案ニ賛成ノ意ヲ表スルモノデゴザイマスガ、二三希望意見ヲ述べサシテ戴キタイト思ヒマス、此ノ法案ハ司令部ノ指令ニ依ツテ急速ニ作ラレタモノデアリマシテ、甚ダマア過渡的ナモノト申シマス、急イデ作ラレタ關係上致シ方ナイカト思ヒマスガ、不備ナ點モアルト思ヒマスガ、是ハ今後統一ノ取レタ根本的ナ林業團體法ヲ制定サレル際ニ改正サレルヤウニ希望致シ

○贊成ト呼フ者アリ

マス、ソレカラ此ノ法案ノ運用ヲ誤ルト前ノ木材統制法ノ二ノ舞ヲスルニトナリマシテ、唯林産組合ト云フモノガ地本社、日本社ニ名前ガ變ツタダケニナツテ、前ノ木材統制法ト向ジヤウニナル處ガゴザイマスカラ、十分自治統制ト民主的意見ヲ尊重シテ運用サレルトト希冀致シマス

○委員長(子爵北條高八君) 他ニ御發言ゴザイマセヌカ

○白澤保美君 私モ本案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、ソレニ附加ヘテ申上ゲタイコトハ、連日各委員カラ非常ニ熱心、而モ實際ニ即シタ體驗サレタ事柄ニ付テノ御質問ガアリマシテ、之ニ對シテ政府ノ委員諸君ハ非常ニ懇切丁寧ニ御答ヘ下スツタノデ、非常ニ能ク了解致シマシタ、其ノ中デ是カラ愈々實行ニナリマスニ付テ、二三ノ私ノ希望ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ森林組合ト材木業組合、詰リ林産組合トノ關係デアリマスガ、是ガ昨日來御話ノアル通り、全ク性格ノ違ツタモノガ同ジニ對立シテ仕事ヲシテ行クニ付テハ、其ノ力ノ強イモノ、ト言ヘバ寧ろ林産組合ノ方デアルガ、林産組合ニ何時モ森林組合ノ方ガ壓倒サレハシナイカト云フ懸念ガアリマス、是ハ戰時中ニ殊ニ其ノ例ガ多カツタノデアリマシテ、木材生産ニ忙シイ爲ニ此ノ森林組合ノ方ニ、木材業者ト云

ヒマスカ、木材業者ガ軍ノ當事者ニ迫リマシテ、我々幾ラデモ出ス力ヲ持チ、又出サウト思フケレドモ、何ニシテモ森林業者ガ賣ツテ與レナイカラ困ルノダト云フコトヲ訴ヘタ爲ニ、軍ノ方デハ随分其ノ方ニ、森林組合ト云ヒマス力、森林業者ヲ壓制スルヤウナ具合ニ強イコトヲ言ツテ、或公會ノ席主計大尉位ノ人デゴザイマシタガ、愈々此ノ國家危急存亡ノ秋ニ當ツテ全國ノ森林業者カラ木材ノ獻納ヲシテ貰ハウト云フコトヲ私ハ提議致シマスト云フヤウナ、サウ云フ極端ナコト迄公然ト言ハレタノデアリマス、又其ノ餘弊ト申シマスカ、殘ツテ居ツテ、今デモ多少サウ云フコトハアリハシナイカト思ヒマス、兎ニ角弱イ立場ニト云ヒマスカ、抑ヘラレテ居ルコトハ事實デ、森林組合員ノ方カラ言ヘバ、ドウモ木材業者ト一緒ニヤツテ行クコトヲ、今度ノ此ノ法案ニ依ツテモ共ニヤツテ行クコトヲ寧ろ嫌ツテ居ル傾キガ多イヤウデアリマス、此ノ點ハ山林局ノ特ニ御注意ヲ願ヒタイト思フノデアツテ、實ハ森林組合ノ成立ノ時ニ當リマシテモ、當時ハ戰爭中デアツテ、木材統制法ガ出來テカラ後ハ專ラ其ノ方ニ力ヲ盡サレテ、又森林組合ノ方ハドツチカト言ハバ比較的輕ク視ラレテ居ツタ爲ニ、後ノ二三年ト云フモノハ、森林組合ト云フモノハ木當ノ仕事ハ

出來ナカツタノデアリマスガ、施業案ガ三十「パーセント」シカ出來ナイト云フコトモ其ノ結果デアルノデスガ、處ガ私モ斯ウ云フコトハアラウトハ認メマスガ、併シ又半面ニ考ヘテ見レバ、性格ノ違ツタモノガ同ジ一ツノ團體ニナツテドウシタイケナイカ、又ソレヲ利用スル途ハナイカト云フコトヲ考ヘテ見マス、是ハ丁度人ノ一家ノヤウナモノデ、夫婦ト云フモノハ全ク性格ノ違ツタモノデアアルガ、其ノ二人ガ相共同シテヤツテ行ケバ一家繁榮ノ基トナルノト同ジコトデアツテ、假令性格ガ違ツテモ亦其ノヤリ方ニ依ツテハ必ズシモイケナイト云フコトニハ陷ラナイ、是ニハ私ノ考トシテハ、森林業者ノヤルベキコトト、木材業者ノヤルベキコトノ間ニ一線ノ區別ヲ設ケルト云フコトガ必要デアルト思フ、ソレデハ此ノ區別ヲ何處ニスルカト云フコトデアレバ、森林業者トシテハ自分ガ作ツタ所ノ材木ヲ伐リ出シテ、或地點、若シハ土場、若シハ停車場ニ於テ之ヲ木材業者ノ手ニ渡ス、ソコニ於テ今度ハ價格ノ問題ガ起リマスガ、ドウシテモ森林業者トシテハ其處デ價格ヲ決定シナクテハナラヌ、價格ノコトハ後段ニ申上ゲマスガ、又木材業者ハソレヲ其處デ買ツテ自分ノ都合ノ好イヤウニ製材ヲシテ之ヲ配給スル、但シ森林業者ノ即チ森林組合ニ於テモ

或程度ノ製材ト云フコトハ、是ハ必要デアルト思ヒマス、即チ自分デ作ツタ由ハ自分ノ所デ製材ヲシ、或ハ場合ニ依ツテハ二三ノ組合ガ聯合シテ製材所デ製材スル、此ノ程度ノコトハ當然許スベキモノデアルト思ヒマス、尙森林組合者ガ自分デモツト先迄送ツテ諸所ノ材木迄集メテ、ソコデ製材ヲシヨウト言ヘバ、是ハ一ツノ行き過ぎデアアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカニ又今迄ノ木材業者ト云フモノモ、以前カラノ習慣ニ依リマシテ、山デ森林業者ノ所ヘ行ツテ、出來ルダケ値段ヲ踏ミ例シテ安く買ツテ來テ、ソコデ利益ヲ得ヨウトスルト云フヤウナコトガアツテ、是ガ商賈ノ方デ言ヘバ一ツノ味ノアル仕事トシテ居ツタノデスガ、併シ是ハ森林業者ト云フモノガ發達シテ來ルト云フト、ソコ迄行クノハ私ハ行キ過ぎデアルト思ヒマス、農業デ實例ヲ採ツテ見レバ簡單ニ分ル、青田デ米ヲ賣ルト云フコトハ随分ワカシイコトデ、農業者トシテハ誠ニ始末ヲ附ケ得ナイ、果物ノ蜜柑ヲ作り林檎ヲ作ツテ、之ヲ山デ業者ガ賣ルトシタラ、是モ其ノ業者トシテハ隨分怠ケテ居ル仕事デアル、森林業者ガ自分デ造ツタ木ヲ伐ツテ或地點迄持ツテ行クト云フコトハ、是ハ當然ノ職務デアルト思ヒマス、併シナガラ木ヲ伐ルト云フコトニ付テハ、森林業者ガ自分ノ山ヲ造

ルト云フコトヨリハ特殊ナ違フ技術ガ要ルノデアツテ、其ノ結果、或又違フ業者ニ渡サナケレバナラヌト云フコトニナリマス、是ハ現ニ森林組合ニ全部之ヲヤラセヨウト言ツタ處ガ、今私ガ言ツタ一區劃線迄ハ不可能ノ場合ガアリマス、サウ云フ場合ハ一ツノ例外ト言ハナケレバナラス、原則トシテハソコデ境界ヲ切ル、斯ウ云フコトガ私ハ一番必要デアルト思フ、斯クシテ相共ニヤツテ行ツタナラバ、決シテ衝突スルト云フヤウナコトハナイモノト私ハ考ヘマス、又サウシナケレバナラス、即チ此ノ團體法ノ出來タノモ、恐ラク趣意ハソコニアラウト思フノデアリマス、次ニ價格ノ問題デアリマスガ、價格ハ市場價格デ立木價格ニ及ボスナント云フ、コンナ不合理ナコトハ世ノ中ニハナイコトデアツテ、總テノ物ヲ生産スルノニハ所謂原價ト云フモノガアル、今ノヤウナ計算ヲスレバ原價ガナクナル譯デアツテ、是ハ無論ナスベキコトデハナイト思フ、只今松尾委員ノ仰シヤツタ通り、原則トシテハ丸太即チ生産シタ丸太ニ置イテ、其處ニアル土場ナリ停車場ナリノ價格ヲ取ルコトガ一番原則デアルト思ヒマス、併シナガラ實際ノ問題トシテハ市場價格、所謂規格ニ依ツテ公定値段ヲ附ケルト云フコトニナルト、大分又其ノ間ニ複雑ナ關係ガ起ルト思ヒマスカラ

シテ、公定價格ト云フモノヲ一切
原本決メルト云フコトモ、或ハ
困ル場合モアルト思ヒマスガ、併
シ其ノ基本トナルベキモノハ原
價、即チ山ヲ伐ツタ所ノ原價ト云
フコトデアツテ、詰リ其ノ山ニ付
テ原價ヲ計算スルノハ政府委員ハ
困難デアリト云フ御話ガアリマシ
タガ、是ハ或場合ニ於テハ非常ニ
困難デアリマスガ、但シ今日最モ
澤山伐採サレテ居ル所ノ杉トカ檜
ト云フモノノ四五十年生ノモノ
ハ、是ハ明治二十年以後ノモノデ
アリマスカラシテ、原價計算ガ立
派ニ出來マス、造林費ニ金ノ利息、
尙其ノ後ノ費用ヲ加ヘル、價格ノ
騰貴ト云フコトハ時代ニ依ツテ變
ツテ來テ居リマスガ、ソレニハ大
藏省ノ物價指數ト云フモノガアリ
マスカラ、ソレニ「プロセント」ヲ
掛ケサヘスレバ宜イ、兎ニ角原價
ノ計算ハ出來マスカラ、此ノ原價
計算ト云フモノヲ第一番ニ基本ニ
シテ、ソレニ市場價格其ノ他ノ關
係デ參酌シタナラバ、都會ニ於ケ
ル、消費地ニ於ケル値段モ出來ル
ダラウト思ヒマス、唯山林ノ中デ
モ天然林ハドウスルカト云フコト
デアリマス、之モ或程度原價計算
デ勘定スルコトハ出來得ナイコト
デアリマスガ、ソレノ第一ノ要素
トシテハ、其ノ山ヲ伐ツタ場合ニ
於ケル造林費デアリマス、造林費
ヲ第一ノ元ニスル、サウシテ現在
アル所ノ立木ノ値ヲ幾ラニスルカ

ト云フコトハ、是ハ元ハ金ガ余リ
掛ツテ居ナイモノデアラカラ困難
デアルガ、併シ其ノ山ノ所有者ト
シテハ、其ノ山ヲ買ツタ時ノ所謂
資本金ト以フモノハ是アル譯デア
リマス、又今日ニ於テモ山ヲ評價
スル所ノ資本ノ、代金ノ、山代金
ト云フモノヲ計算スルト云フコト
ハ出來ルノデアリマスガ、ソレニ
或利息ヲ掛ケテヤツタナラバ、之
モ一ツノ中ニ加ヘル所ノ要素ニナ
ラウト思ヒマス、ドンナ天然林デ
アツテモ地方ニ於テハ多少價值ガ
アリマスカラ、ソレ等ノ要素ヲ多
少考ヘテヤツテ、公定價格ト云フ
コトハ出來マセヌケレドモ、原價
計算即チ其ノ山ノ、其ノ立木ノ原
價計算、所謂最低價格ト云フモノ
ガ出來ヨウト思ヒマスガ、政府ノ
當事者モ豫メサウ云フコトハ能ク
御研究ニナツテ居ルガ、二、三年
前ニ林業協力會デ私ハ今ノ造林サ
レタ原價計算ヲヤツタコトガアリ
マスガ、記録ヲ誰カ持ツテ居ル方
モアルト思ヒマスガ、其ノ原價計
算ヲヤツタノデスガ、多少御參考
ニ、ソレヲ御覽ニナツタラ如何カ
ト思ヒマス、ソレデスカラ、ソレ
ニ今度外ニ市場價格、昨日モアレ
シマシタガ、他ノモノヲ參照シタ
値決メルト云フコトデアレバソ
レハドウ云フ風ニ決マルカ分リマ
セヌガ、唯我々林業者ノ方ノ立場
ト致シマシテハ、原價計算ト云フ
モノヲハツキリ持ツテ居レバ、ソ

レニ對シテ或増加ヲシテ載ケレバ
多少公正ナ價值ガ出來ルト思ヒマ
ス、ソレカラ規格ニ對スル問題
ハ、是ハ隨分困難ナ問題デアリマ
シテ、是ハ製材屋ナドノ關係カラ
行キマシテ、非常ニ困難事實ガア
ツテ、此處ニ木材ヲ澤山使用ナサ
レタ竹中氏ナドハ此ノ戰爭中ニ御
困リニナツタ實例ガアルト思ヒマ
スガ、此ノ製材ノ規格ノヤリ方ガ
大雜把ト申シマスガ、製材ノ方ノ
關係カラ來マシタガ、所謂製材化
ケモノト云フモノガ非常ニ市場ニ
出マシタガ、サウ云フモノハ何ト
申シマスガ、詰リ板割デスネ、板
割ト云フモノハ大抵六分カラ厚イ
モノデモ八分位シカナイモノデア
ルガ、ソレデ二寸位ノモノヲ拵ヘ
マシテ、之ヲ板割ト稱シテ賣ツ
テ、之ヲ買ツテ來テモ何モ使ヒ途
ガナイカラ、之ヲ引割ツテ使フニ
ハ又製材シナケレバナラヌ、大キ
ナ儘デ使ツテ隨分困ツタ實例ガ澤
山アルノデ、木材ヲ使フ時ニ斯ウ
云フ經驗ヲ持ツテ居ツタノデアリ
マス、今日ハドウカ知リマセヌ
ガ、使用者トシテ、消費者トシテ
ハ非常ニ困ル、是ハ製材關係カラ
ト、前ノ公定價格カラ來テ居ツタ
ノデアリマス、如何ニシテ公定價
格ヲ適レヨウカト云フコトハ、是
ハ當業者ガ常ニ苦心シテ居ル所デ
アツテ、色々規則ヲ拵ヘテ見マシ
タトコロガ、要スルニ人間ノ作ツ
タ規則デアラカラ適レルコトハ研

究スル、細カク行ケバ細カク行ク
程事ガ煩雜ニナル、荒クスレバ荒
クスル程今ノヤウナコトガ出來テ
居リマスカラ、是ハ先ヅ適當ノ所
デ結局言ヘバ宜イ加減ナ所決メ
ルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、結
局斯ウ云フコトハ組合ガ強化サレ
テ來ル場合ニハ、其ノ方カラ或程
度ノ弊ハ除キタイト思フノデスカ
ラ、此ノ林業會ノ將來トシテモ、
斯ウ云フ細カク點迄今度ハ一ツ單
ニ形式的ナ規格ト云フコトデナク
テ、實際ノ適用ニ付テ業者ノ啓發
ヲシテ戴クコトニ御盡力ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、ソレカラ次ニ造林
ニ對スル問題デアリマスガ、其ノ
前ニ森林組合ノコトデス、森林組
合ガ出來マシタ當時ヨリハ、一時
ハ山林局側デモ骨ヲ折ラレタガ、
他ノ關係モアツテ、其ノ當時ノヤ
ウナ風ニ及バナイ、愈々今度立直
シデアリマス、殊々今度ハ山林組
合、林業者者共ニヤツテ行クト云
フコトニナツテ、是ハ一層一ツ御
指導、御獎勵ヲ願ヒタイコトヲ特
ニ希望致シタイト思ヒマス、ソレ
カラ林産ノ造林ニ付テハ、種苗ノ
供給ト云フコトニ付テハ、政府デ
モ骨ヲ折ツテ居ラレマスガ、種苗
ノ供給ニ付テ、政府デ拵ヘルノハ
ソレ程デモナイニシテモ、民間デ
盛ニ出ルヤウニナルト、往々惡イ
種ガ出テ來マスカラ、先年私ガ林
業試驗所長ヲヤツテ居ツタ時ニ、
資源調査法ト云フモノガ發布サレ

テ、ソレニ依ツテ種ノ検査ヲシテ
居リマシタガ、是モ戰爭ノゴタゴ
タデ中止シテ居ル譯デアリマス、
之ヲ復活シテ種ガ要レバ要ル程、
検査ノ方ニ於テハ御努力ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、ソレカラ苗木ノ養
成ト云フモノモ、是モ大變ナ仕事
デアリマスカラ、森林組合ニ對シ
テ、政府デ國有林ヲ利用爲サルコ
トハ勿論、同時ニ森林組合ノ良團
ヲ作ルコトヲ獎勵ヲ願ツテ、之ニ
對シテハ特別ノ補助金デモ出スヤ
ウナ方法ヲ考ヘテ戴イタラ割合ニ
樂ニ進ミヤシナイカト思ツテ居リ
マス、ソレカラモウ一ツ序ルニ申
シマスガ、第一條ノ原案ニハ「林
産物とは、木林その他」ト書イテ
アツテ、其ノ次ニ「森林から產出
する物」トアリマスガ、薪炭ト云
フモノガ脱ケテアルノデス、之ニ
付テノ經緯ハ私ハ知ツテ居リマス
カラ、此處デハ掘出シテ申上ガマ
セヌガ、是ハ當然ノコトデアルノ
デスカラシテ、現在ノ農業會トノ
關係モアリマスガ、今年、來年直
グト云フ譯ニハ行キマセヌガ、當
然森林組合ノ事業トシテ農業會ニ
御交渉ニナツテ、出來ルダケ早ク
移シテ戴キタイ、斯ウ云フ希望デ
アリマス、以上五點ヲ申上ゲマシ
タガ、餘リ立入ツタコトヲ申上ゲ
テ相濟ミマセヌデスガ、ドウゾ、
私ノ考ヘテ居ルコトヲ御參酌ヲ願
ヒタイト思ヒマス、茲ニ於テ私ハ
本案ニ賛成ヲ致シマス

○委員長 子爵北條篤八君 他ニ
御發言ガゴザイマセヌケレバ、討
論ハ終局シタモノト認メマシテ、
直チニ採決ニ入りマス、林業會法
校ヲ原案通り可決スルコトニ御異
議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○委員長(子爵北條篤八君) 御異
議ナイモノト認メマス、左様決定
ヲ致シマス、之ヲ以テ本委員會ヲ
終リマス

午後零時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵北條 篤八君
副委員長 男爵松平外與麿君
委員

公爵三條 實春君
侯爵池田 宣政君
伯爵前田 利男君
子爵西大路吉光君
子爵加藤 泰通君
子爵青木 重夫君
白澤 保美君
小山 松吉君
男爵佐竹 義履君
男爵平山洋三郎君
男爵前島勘一郎君
竹下 豐次君
松尾 國松君
田部長右衛門君
竹中藤右衛門君
杉山 茂君
子爵土屋 尹直君

委員外議員

國務大臣
農林大臣 和田博雄君
政府委員
農林技官 中尾 勇君
農林事務官 平川 守君

昭和二十一年十一月十二日印刷

昭和二十一年十一月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局